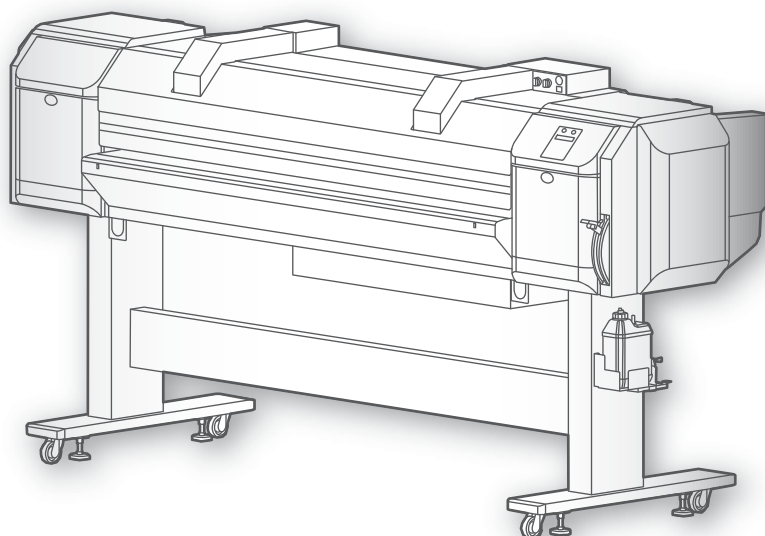


# VJ-1628MH

## スタートアップガイド

### 開梱と初期設定



開梱 .....	2
組み立て .....	8
ケーブルの接続.....	20
セットアップ.....	22
テスト印刷.....	34
スリープモード.....	48
安全にお使いいただくために.....	50
お問い合わせ先.....	57

- 
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
  - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
  - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
  - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

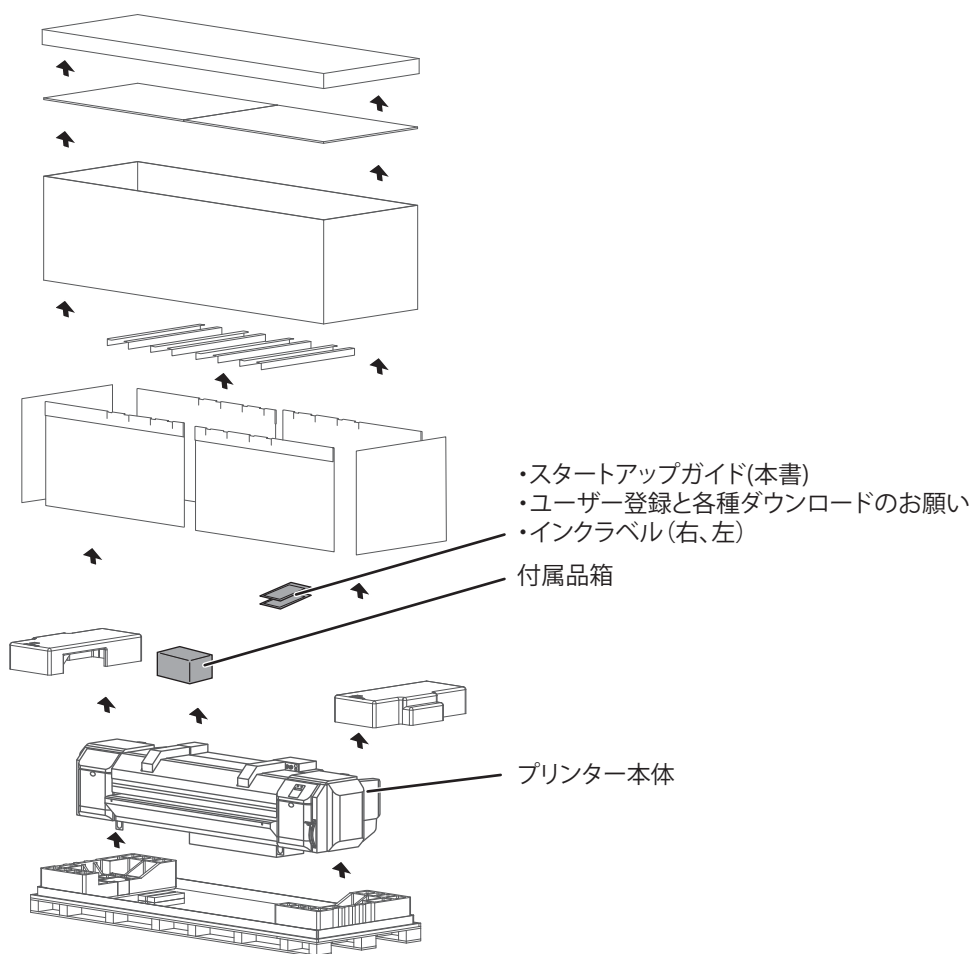
# 開梱

## ⚠ 注 意

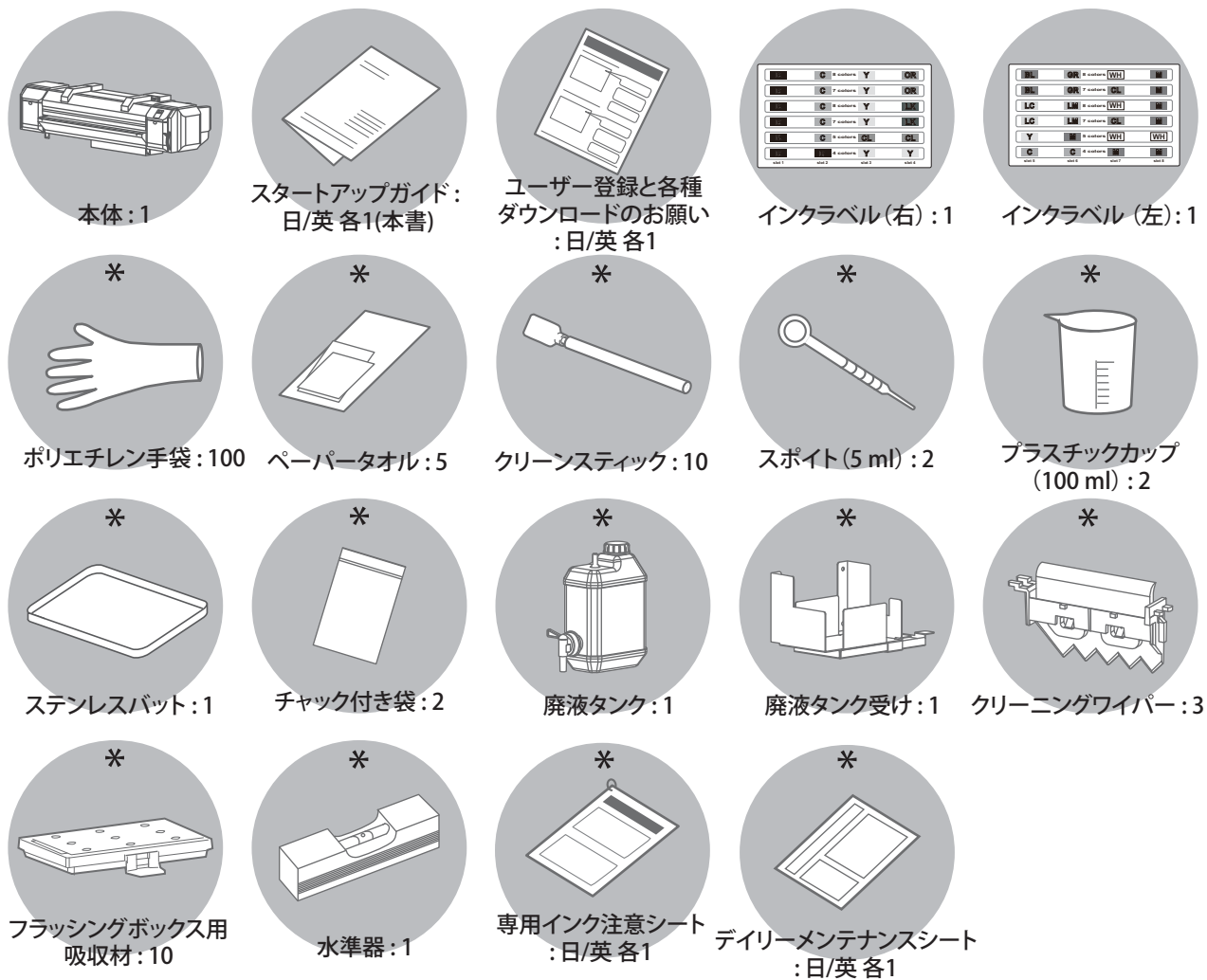
- ・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず4人以上で作業してください。
- ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

## プリンターの開梱

[1] 梱包箱を開き、各部品を取り出します。



[2] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。

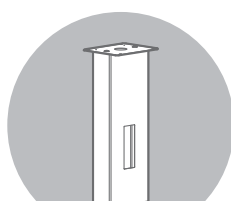


 Note

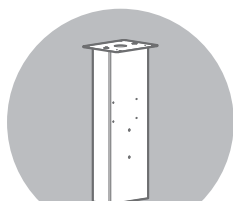
上のイラストで「\*」印がついているものは、付属品箱に入っています。

## 専用スタンド梱包箱の内容

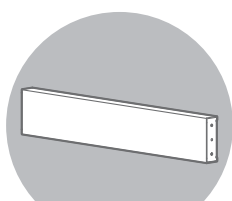
同梱品がすべてそろっているか、確認します。



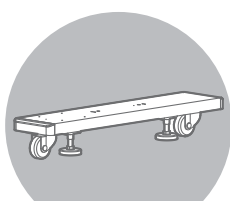
支柱(左):1



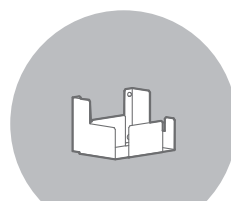
支柱(右):1



支柱つなぎ:1



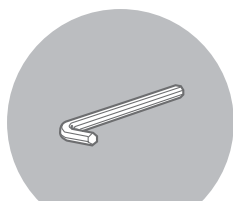
脚:2



廃液タンク受け:1



六角穴付きボルト:8



六角レンチ:1



蝶ボルト:8



廃液タンク受け固定用ネジ:4

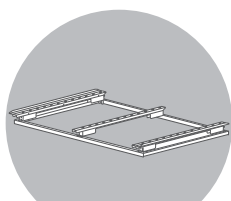


**Important!**

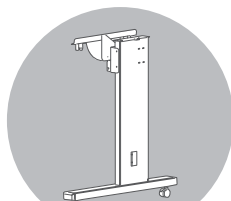
廃液タンク受けは、付属品梱包箱内の廃液タンク受けを使用してください。

## 搬送台（オプション）梱包箱の内容（片側分）

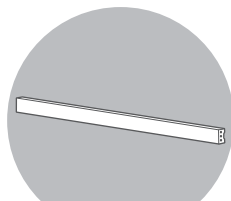
同梱品がすべてそろっているか、確認します。



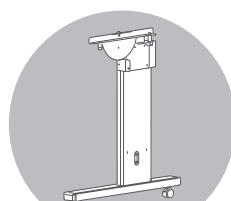
フレーム:1



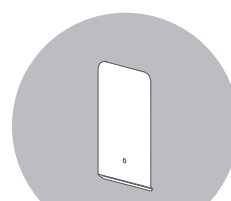
脚(左):1



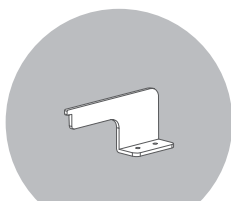
中間ステー:1



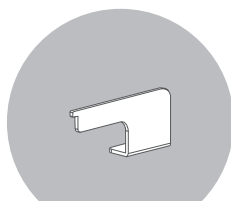
脚(右):1



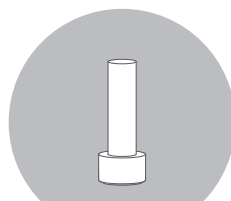
ストッパー:1



設置プレート(左):1



設置プレート(右):1



六角穴付きボルト:8



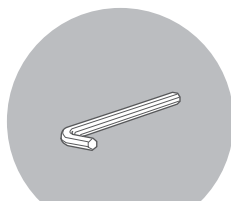
ネジ:4



ツマミ付きネジ:1



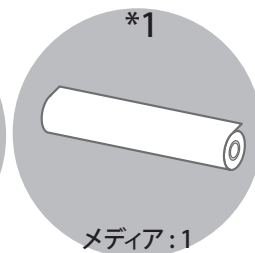
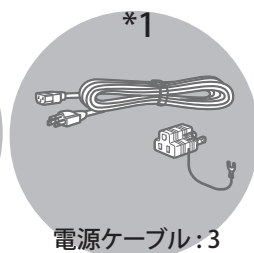
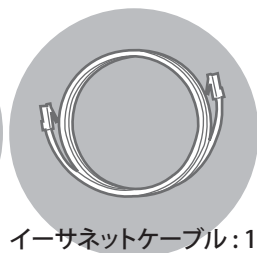
六角スパナ:2



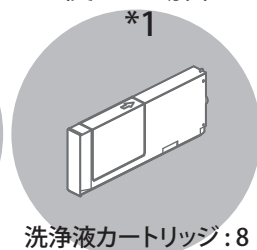
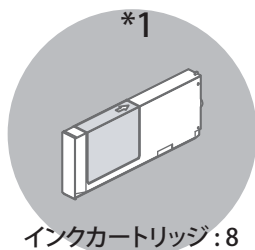
六角レンチ:1

## その他にご用意いただくもの

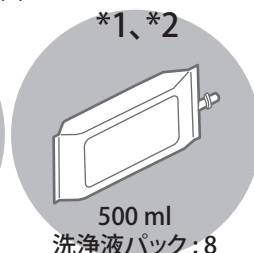
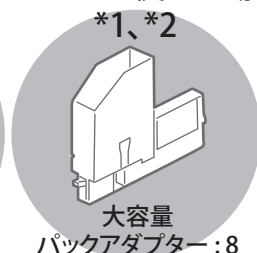
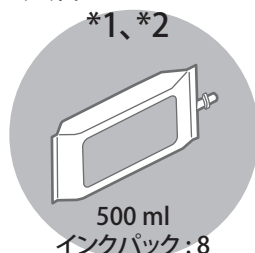
本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。



インクカートリッジをお使いの場合



大容量パックアダプターをお使いの場合



\*1 オプションまたはサプライ品です。

\*2 大容量パックアダプターへの 500ml インクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご覧ください。

### Important!

コンピュータは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS : Windows 11、Windows 10

当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトによる各 OS のサポート期間に準拠します。

RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

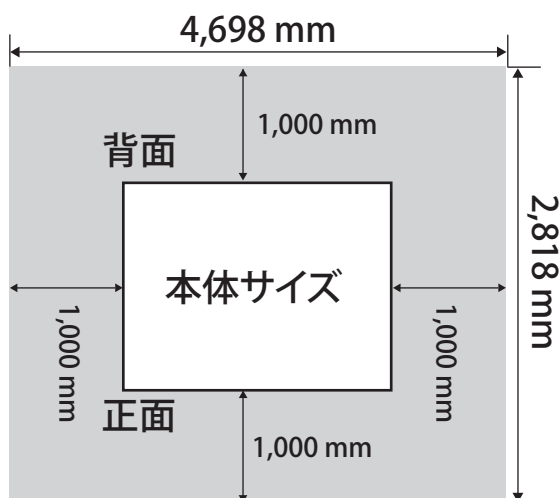


### 警告

かならず指定の電源ケーブルを使用してください。  
指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

## 設置場所について

### 最小設置スペース



#### 本体サイズ

幅 x 奥行: 2,698 mm x 818 mm

高さ : 1,302 mm

### 設置場所の確認

本製品は、次のような場所に設置してください。

- ・ 水平な場所
- ・ 振動しない場所
- ・ 湿気やホコリの少ない場所
- ・ 温度・湿度の変化が小さい場所
- ・ 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- ・ 電磁波などのノイズが少ない場所

#### ⚠ 注意

- ・ 作業場所は換気してください。  
インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。  
頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。  
吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
- ・ この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

## 設置環境条件

本製品は、下表の条件を満たした場所に設置してください。

電源仕様	プリンター	電圧：AC 100V ～ 240V±10% 周波数：50/60Hz±1Hz 容量：3 A 以上
	ヒーター ×2	電圧：AC 100V ～ 120V±10% / AC 200V ～ 240V±10% 周波数：50/60Hz±1Hz 容量 ・ブローヒーター 1：10 A 以上（AC 100V ～ 120V） ブローヒーター 1：10 A 以上（AC 200V ～ 240V） ・ブローヒーター 2：10 A 以上（AC 100V ～ 120V） ブローヒーター 2：0 A 以上（AC 200V ～ 240V）
環境条件	動作環境	温度：20 °C～ 28 °C、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	作画精度保証範囲	温度：22 °C～ 28 °C、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	保存環境	・インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20 °C～ 60 °C、湿度：20% ～ 80% 結露なきこと ・インク充てん保存：30 日以内 *1*2 温度：5 °C～ 30 °C、湿度：20% ～ 80% 結露なきこと  *1 デイリーメンテナンスシート記載のデイリーメンテナンスを行うこと。 *2 スリープモードによる常時通電、7 日ごとのインク残量確認とインクのかくはんを行うこと。

# 組み立て

## プリンターの組み立て

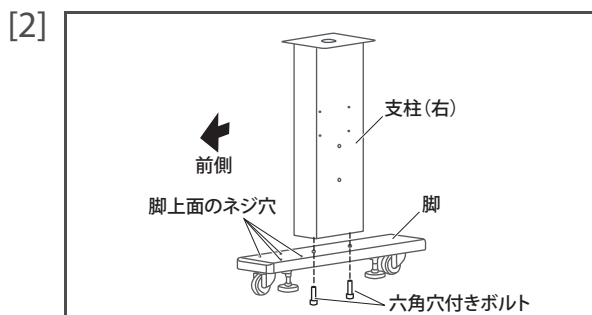
### ⚠ 注 意

プリンターを組み立てる場合は、かならず4人以上で作業してください。

### 専用スタンドの組み立て手順

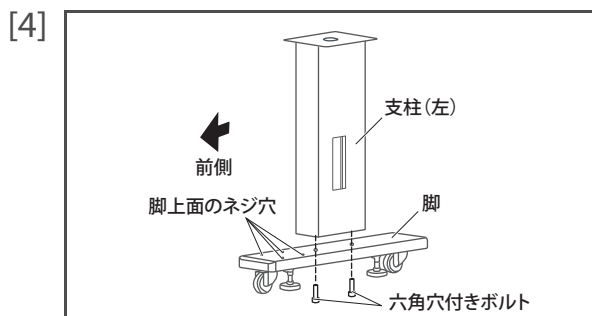
以下の手順に従って、専用スタンドを組み立ててください。

[1] スタンド右部を組み立てます。

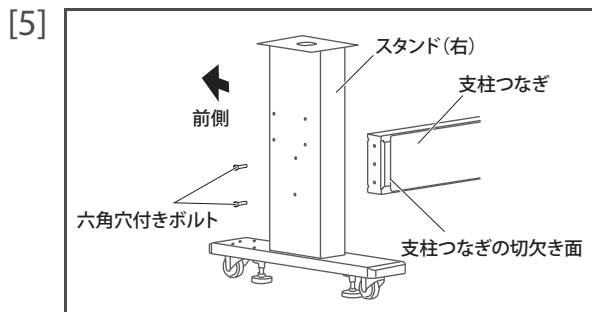


脚上面のネジ穴（4 か所）が前側に来るように、脚に支柱（右）を取り付けます。

[3] 同梱品の六角レンチを使用して、六角穴付きボルト（2 本）を締め付けます。

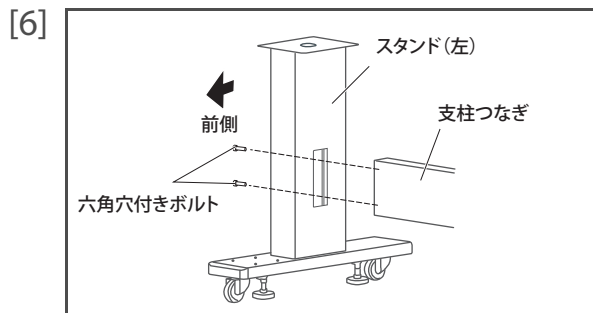


手順 2、3 と同様にして、スタンド左部を組み立てます。

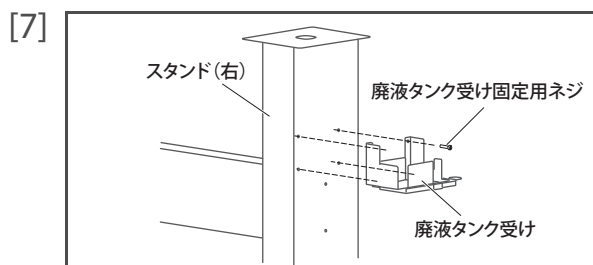


スタンド（右）と支柱つなぎを六角穴付きボルト（2 本）で固定します。

- 左図のように支柱つなぎの切欠き面が後側にくるように取り付けてください。



手順 5 と同様に、スタンド（左）と支柱つなぎを固定します。

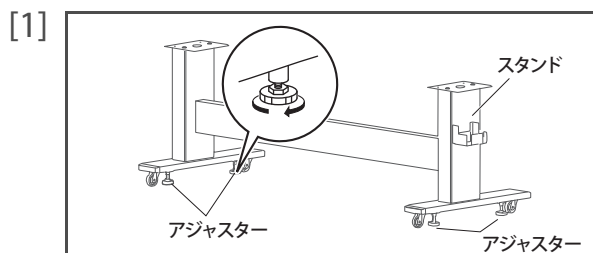


廃液タンク受けをスタンド（右）に、廃液タンク受け固定用ネジ（4 本）で固定します。

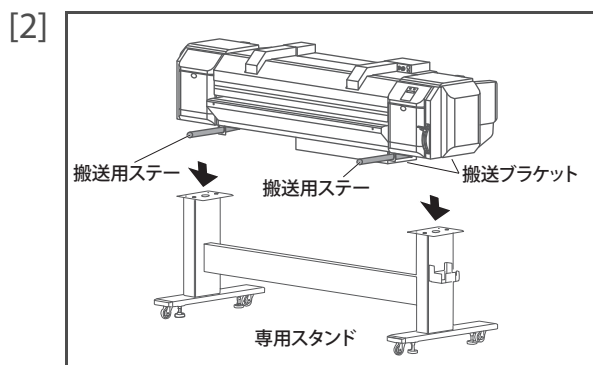
[8] スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

## 専用スタンドの取り付け手順

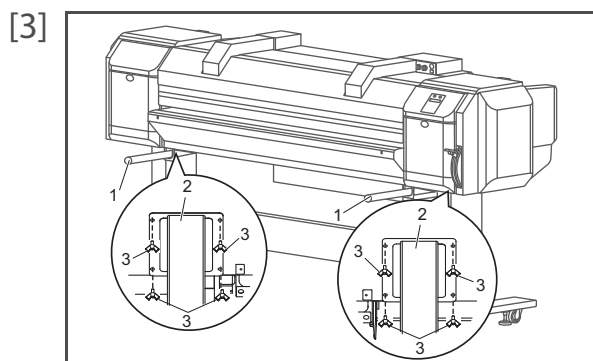
以下の手順に従って、製品本体に取り付けてください。



専用スタンドのアジャスター（4 箇所）を図の方向に回転させ、専用スタンドを固定します。



治具の搬送用スレー（2 本）を搬送ブラケット（左、右）に差し込み、4 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。



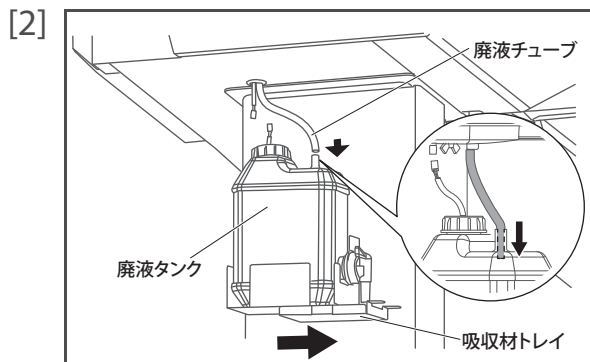
搬送用スレー（2 本）を取り外し、製品と専用スタンドを、蝶ボルト（8 本）で固定します。

- ・ 1：搬送用スレー
- ・ 2：専用スタンド
- ・ 3：蝶ボルト

## 廃液タンクの取り付け手順

以下の手順に従って、廃液タンクをセットしてください。

[1] 廃液タンク受けに、廃液タンクを載せます。

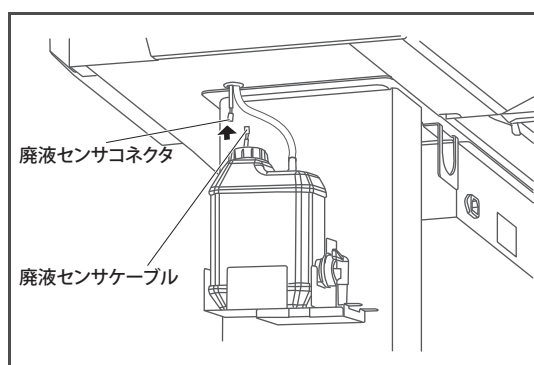


廃液タンクに廃液チューブを取り付けます。

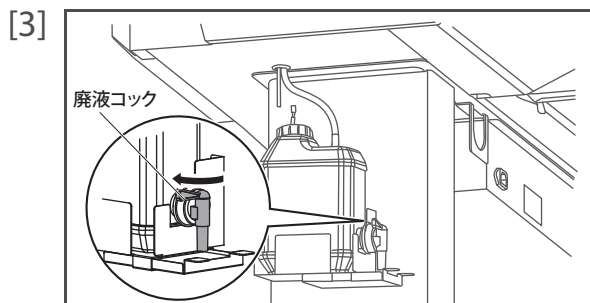
- ・廃液チューブを、廃液タンクの口に差し込みます。
- ・廃液タンク受けから、吸収材トレイを引き出します。

### Important!

廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。  
しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生する恐れがあります。



廃液センサケーブルを廃液センサコネクタに差し込みます。

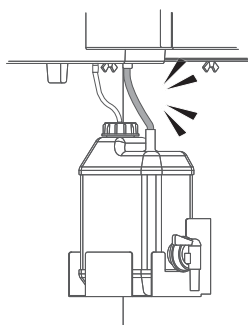


廃液コックが閉じているか確認します。

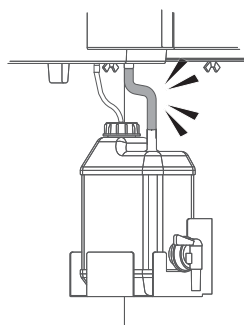
### Important!

- ・廃液タンクに廃液チューブを取り付けた後に、廃液チューブに折れ曲がっている箇所がないことを確認してください。  
折れ曲がっている箇所がある場合、インク漏れが発生する恐れがあります。

よい



わるい

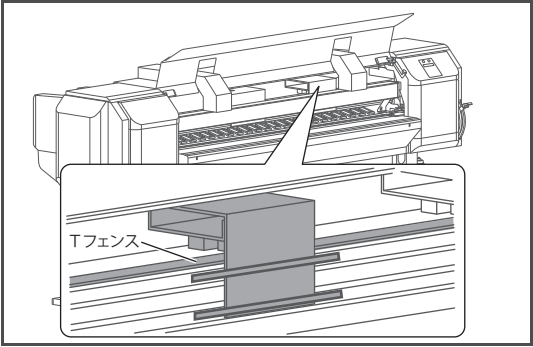


## 保護材の取り外し

以下の手順に従って、全ての保護材を取り外してください。

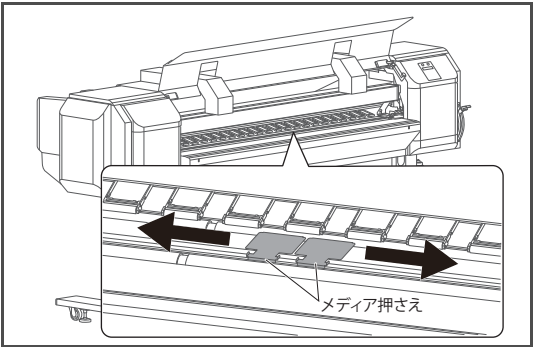
[1] 各カバーに貼られているテープを全て剥がします。

[2] フロントカバーを開け、テープで固定されている保護材を全て剥がします。

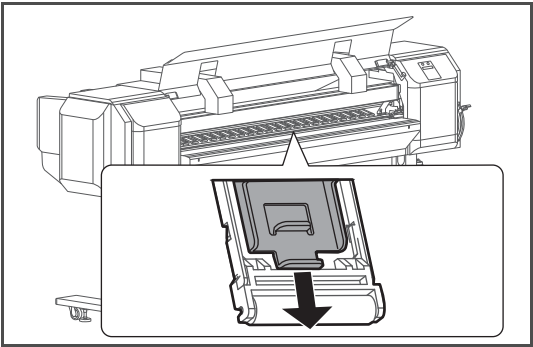
[3]  テープを剥がし、T フェンスに当たらないよう注意しながら、ベア倒れ防止材とベア押えを取り外します。

 **Important!**

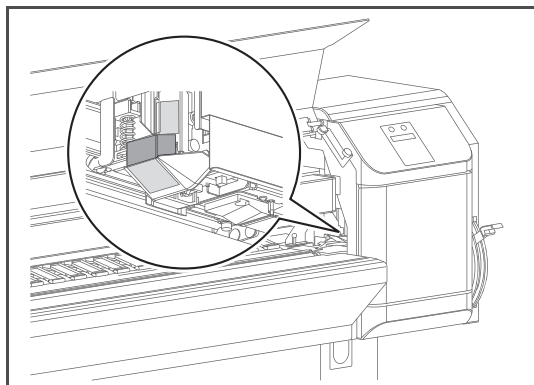
T フェンスを損傷しないよう作業してください。損傷すると、作画不良の原因となります。

[4]  テープを剥がし、メディア押さえを左右の端に移動します。

[5]  メディアセットレバーを上げます。

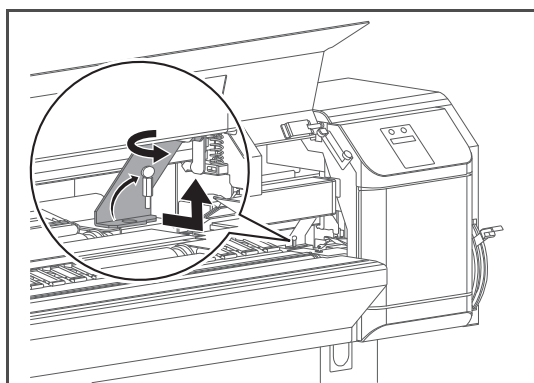
[6]  すべての加圧アームの解除スライダーを、突き当たるところまで手前に引きます。

[7]



テープを剥がし、ヘッド衝突防止センサーの保護材を取り外します。

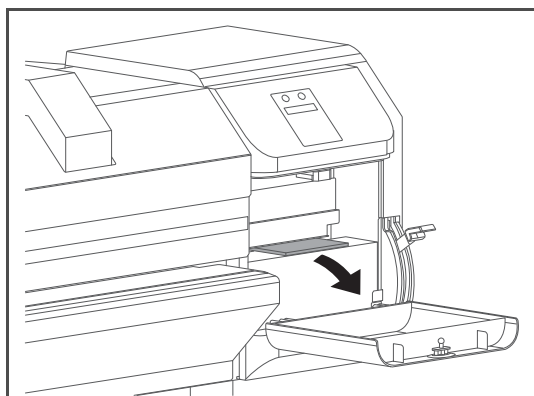
[8]



ツマミネジを取り外し、キャリッジ固定材を取り外します。

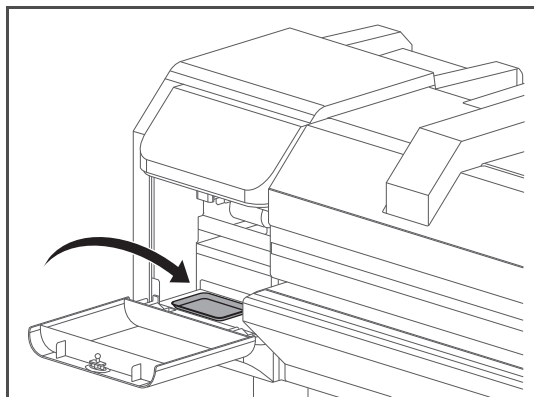
[9] フロントカバーを閉じます。

[10]



製品右側のメンテナンスカバーを開けて、緩衝材を取り除きます。  
・メンテナンスカバーを閉じます。

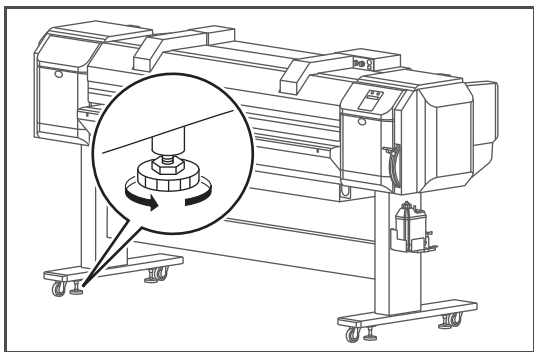
[11]



製品左側のメンテナンスカバーを開けて、ステンレスバットをセットします。  
・メンテナンスカバーを閉じます。

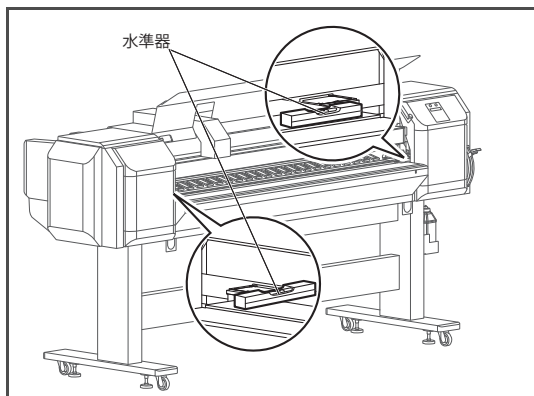
## 水平の確認

- [1] アジャスター（4箇所）を図の方向に回転させて、本製品を設置場所に固定します。



- [2] フロントカバーを開けます。

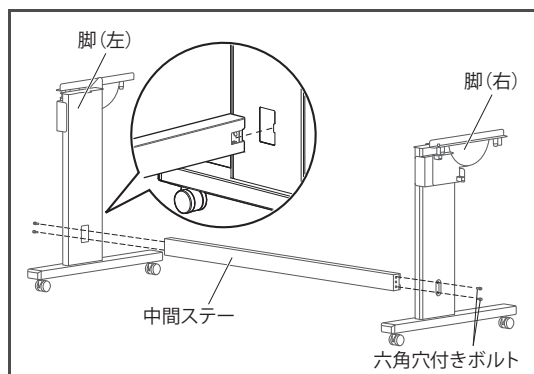
- [3] プラテンの両端に水準器をセットします。  
・プリンターが水平になるようにアジャスターで調整してください。



## 搬送台（オプション）の組み立て

リジッドメディアに印刷をする場合は、搬送台（オプション）を以下の手順に従って組み立てます。

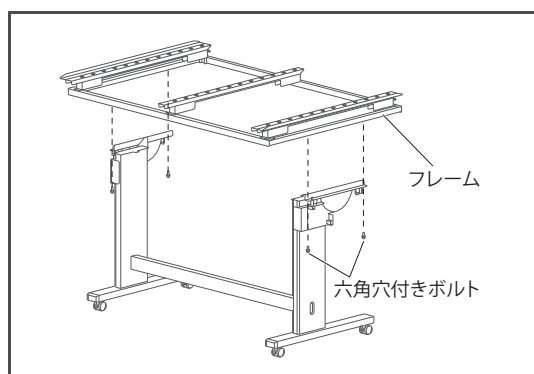
[1]



六角穴付きボルト（4本）を使用して、中間ステーを脚（左）と脚（右）の間に固定します。

- ・脚（左）、脚（右）にある凸部を、中間ステーの切欠きに合わせ、取り付けてください。

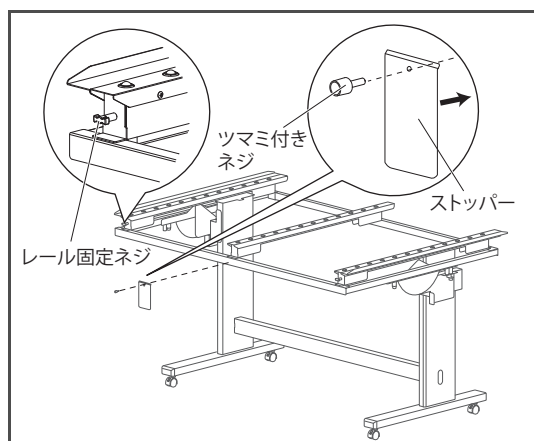
[2]



フレームを脚の上に載せ、六角穴付きボルト（4本）で固定します。

- ・フレームの穴に、脚の突起をしっかりとめ込み、固定してください。

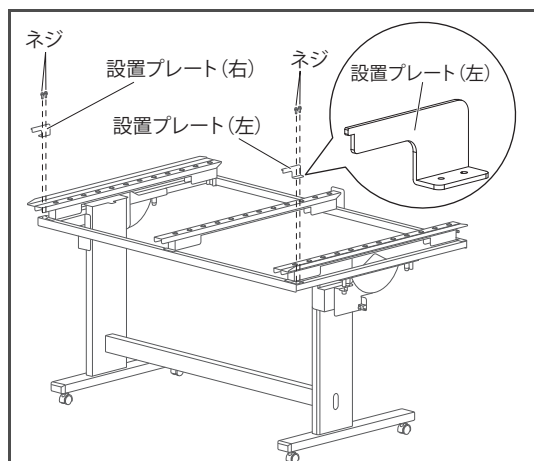
[3]



ストッパーをツマミ付きネジでフレームに固定します。

- ・ストッパーはレール固定ネジがある側に取り付けます。
- ・ストッパーの曲がっている部分がフレームに沿うように取り付けてください。

[4]



設置プレート（右、左）をフレームにネジ（各2本）で固定します。

- ・設置プレートはレール固定ネジと反対の側に取り付けます。

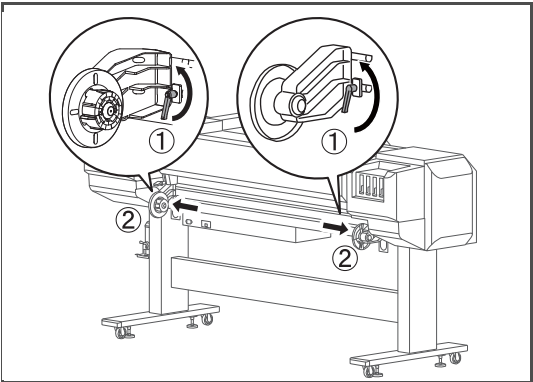
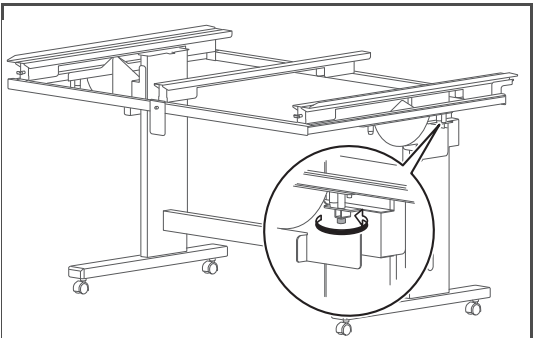

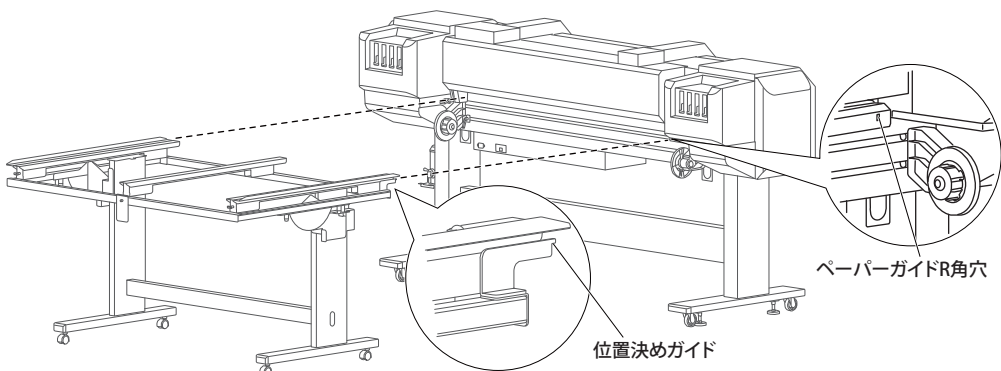
## 搬送台（オプション）の取り付け

リジッドメディアに印刷をする場合は、以下の手順に従って搬送台を取り付けてください。

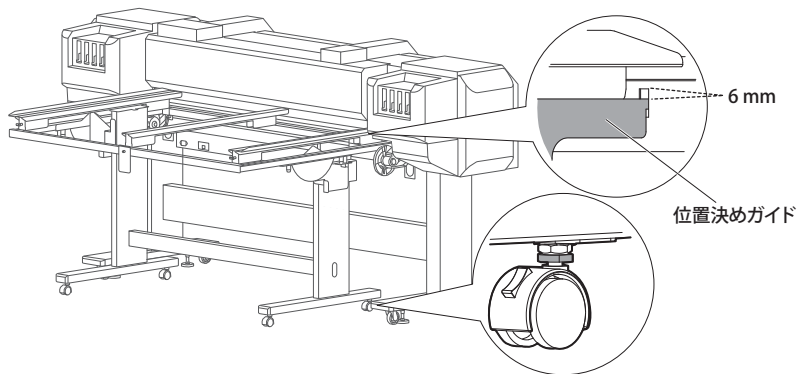
### 必要なもの：

- ・ 六角スパナ（搬送台付属品）
- ・ 水準器（プリンター付属品）

### 背面側の取り付け手順

- [1]  製品背面左右のロール紙受けの固定レバーを緩め、ロール紙受けを両端に寄せて固定します。
- [2]  搬送台の水平固定ネジ（左右 2 箇所）が固定されていることを確認します。
-  **Note**  
水平固定ネジを固定する際は、フレーム部を上から押えてゴム足部を圧縮しながらネジを回し、ネジが回らなくなるまで回してください。
- [3] 搬送台の位置決めガイドをペーパーガイド R の角穴に挿入します。
- 

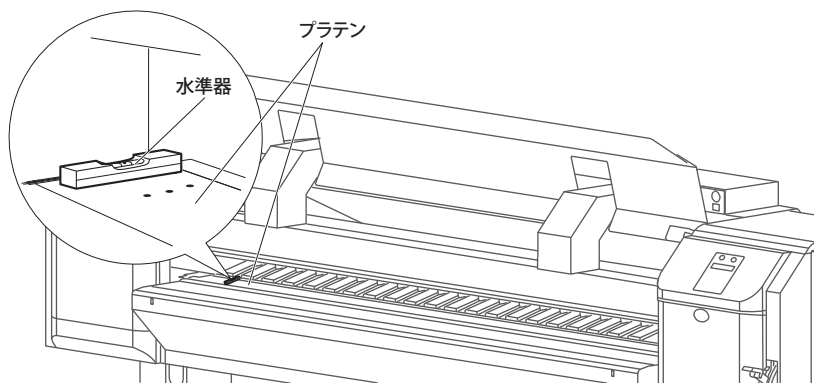
- [4] 搬送台のキャスター（プリンターから近い側、2箇所）のネジをスパナで回して、ペーパーガイド R の角穴の上部と搬送台の位置決めガイドの上側の差が、6mm 位になるように調整します。



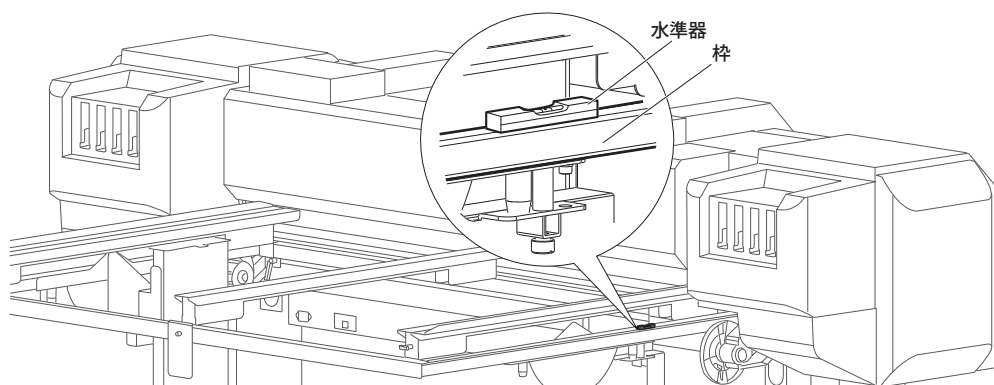
Note

- ・搬送台のキャスターにはネジが 2 種類あります。下側のネジを回してください。
- ・ネジを時計回りに回すと、搬送台が上昇します。

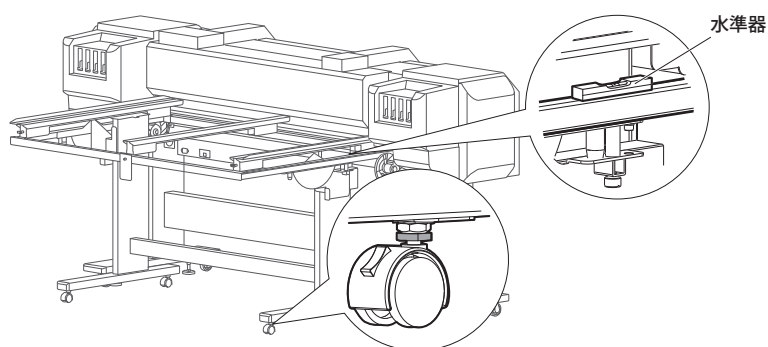
- [5] 水準器をプリンターのプラテンの端に置き、気泡の位置を確認します。



- [6] 水準器を搬送台の枠に置きます。  
水準器は、プリンターに置いたときと同じ側に置きます。



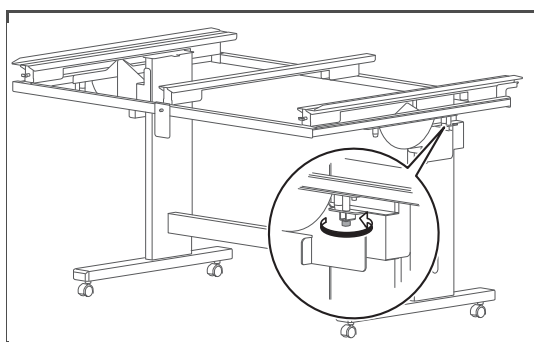
- [7] 搬送台のキャスター（プリンターから遠い側、2箇所）のネジをスパナで回し、傾きを調整します。  
水準器の気泡の位置が、プリンターに置いたときと同じ位置になるようにします。



- [8] 反対側も同様に傾きを調整します。

## 正面側の取り付け手順

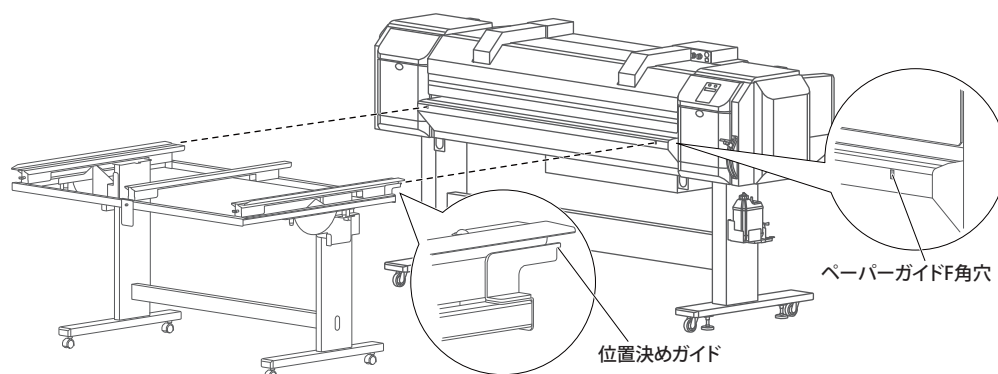
- [1] 搬送台の水平固定ネジ（左右2箇所）が固定されていることを確認します。



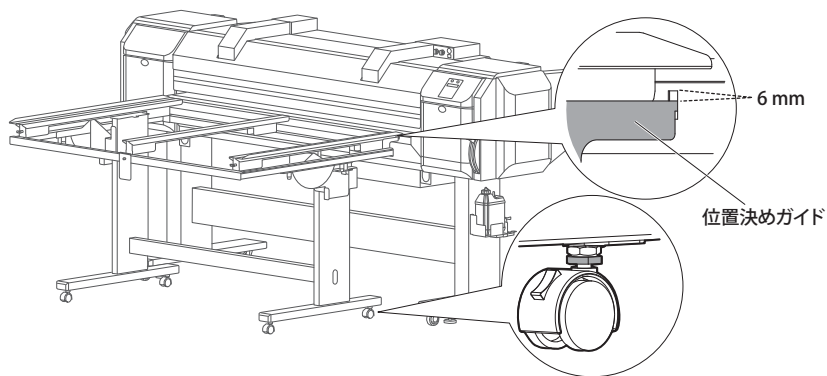
### Note

水平固定ネジを固定する際は、フレーム部を上から押えてゴム足部を圧縮しながらネジを回し、ネジが回らなくなるまで回してください。

- [2] 搬送台の位置決めガイドをペーパーガイドFの角穴に挿入します。



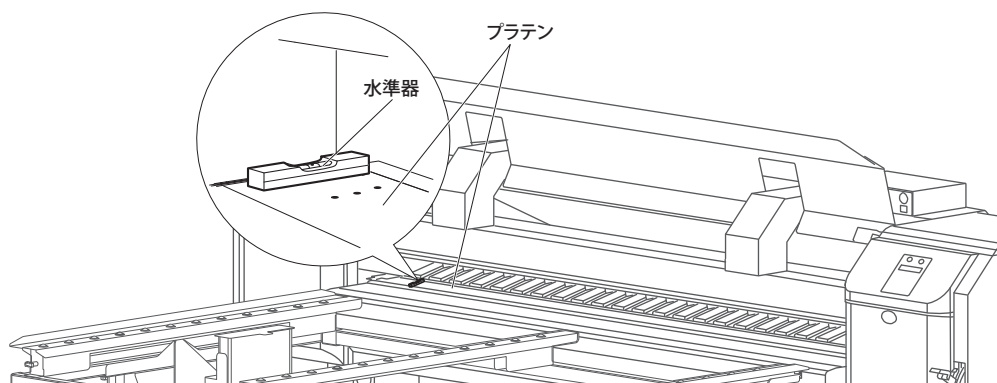
- [3] 搬送台のキャスター（プリンターから近い側、2箇所）のネジをスパナで回して、ペーパーガイドFの角穴の上部と搬送台の位置決めガイドの上側の差が、6mm 位になるように調整します。



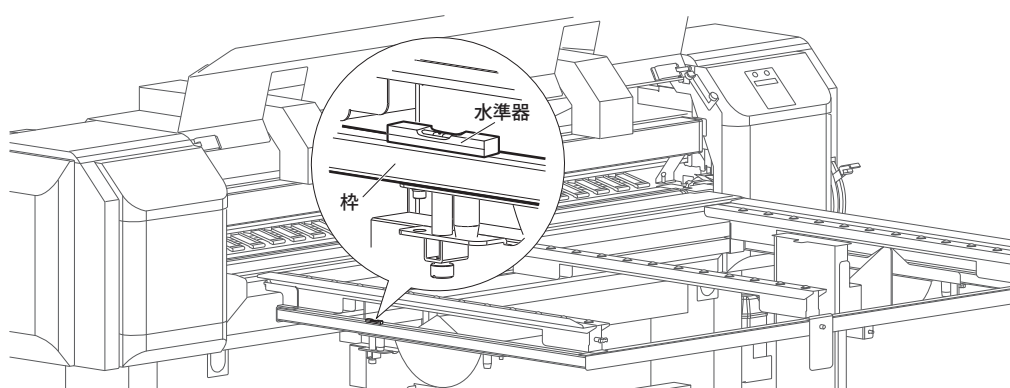
Note

- 搬送台のキャスターにはネジが2種類あります。下側のネジを回してください。
- ネジを時計回りに回すと、搬送台が上昇します。

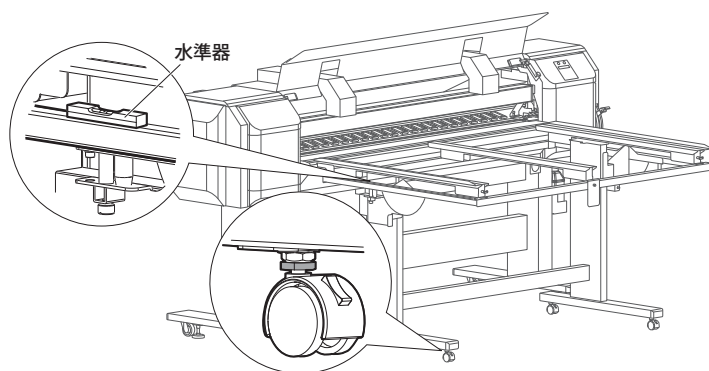
- [4] 水準器をプリンターのプラテンの端に置き、気泡の位置を確認します。



- [5] 水準器を搬送台の枠に置きます。  
水準器は、プリンターに置いたときと同じ側に置きます。



- [6] 搬送台のキャスター（プリンターから遠い側、2箇所）のネジをスパナで回し、傾きを調整します。  
水準器の気泡の位置が、プリンターに置いたときと同じ位置になるようにします。



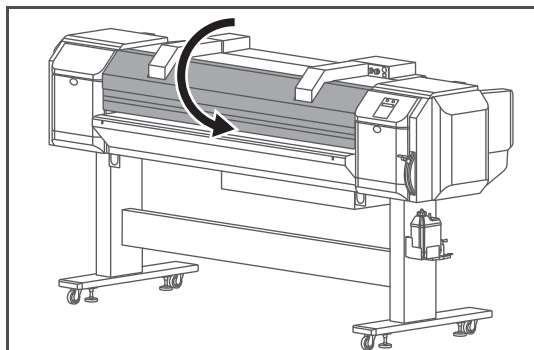
- [7] 反対側も同様に傾きを調整します。

# ケーブルの接続

## 電源ケーブルの接続

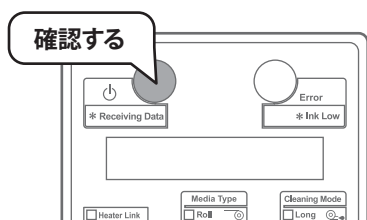
### 1. ケーブルを接続する前に ...

[1]



フロントカバーを閉じます。

[2]



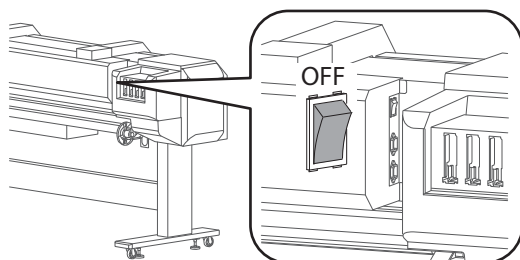
プリンターの電源がオフになっていることを確認します。



#### Note

電源ボタンが奥に押し込まれているときは、オンになっています。  
もう一度、電源ボタンを押して、オフにしてください。

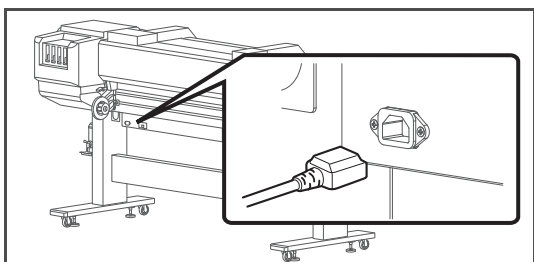
[3]



ブローヒーターの電源がオフになっていることを確認します。

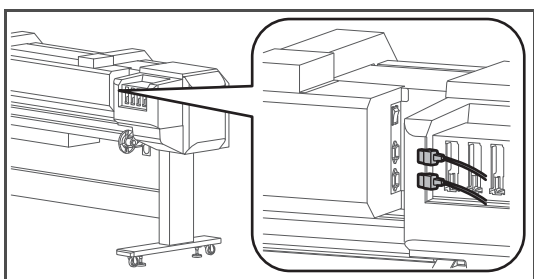
## 2. 電源ケーブルの接続

[1]



電源ケーブルをプリンターに接続します。

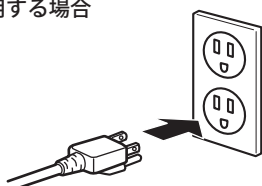
[2]



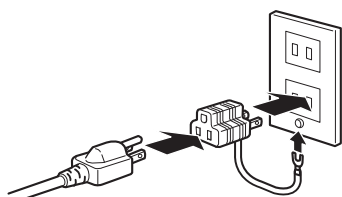
電源ケーブル（2本）をブローヒーターに接続します。

[3]

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

### Important!



本機には複数の電源ケーブルがあります。

電源ケーブルのプラグをコンセントから抜くときは、すべてのプラグを抜いてください。  
感電の恐れがあります。

# セットアップ

## セットアップ手順の流れ

### アクティベーションを行う

本製品のアクティベーションを、操作パネルで行います。

### 初期設定を行う

操作パネルの表示言語、単位を設定します。

### 初期充てん

本製品にインクカートリッジ(インクパック)を取り付け、インク充てんを行います。

### テスト用メディアをセットする

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

### ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

### コンピューターとの接続

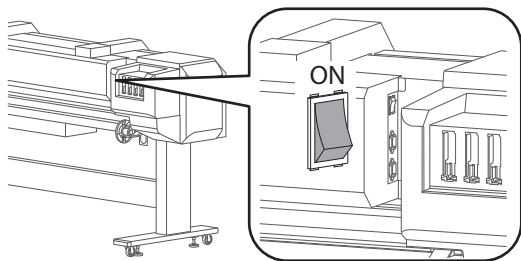
プリンターのIPアドレスを、操作パネルで入力します。  
MSM (MUTOH Status Monitor)のインストールを行い、MSM上で設定を行います。

### セットアップ完了！

## 電源をオンにする

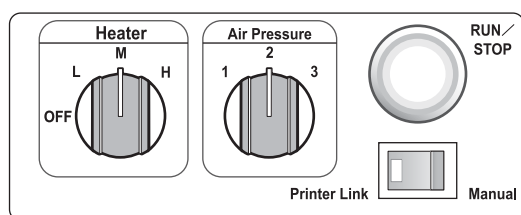
[1] フロントカバーを開きます。

[2]



製品背面のブロアヒーターの電源をオンにします。

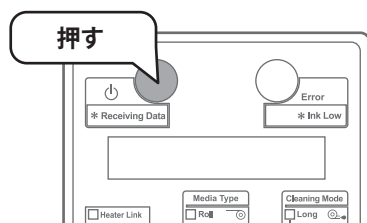
[3]



製品正面のブロアヒーターのリンクスイッチを「Printer Link」にします。

- リンクスイッチが点滅します。

[4]



プリンターの操作パネルの電源ボタンを押します。

- 青色のランプが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。

## アクティベーションを行う

本製品は、初回電源オン時にアクティベーションを行う必要があります。

Activation required

左のメッセージが表示されたらアクティベーションを行ってください。アクティベーションには2種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

👉 本書「操作パネルから設定する場合」P.24

👉 本書「インターネットから設定する場合」P.24

### 操作パネルから設定する場合

[1]

Activation required

[Enter] キーを押します。



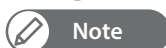
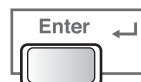
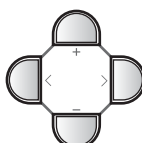
[2]

0000-0000-0000-0000

16桁のアクティベーションコードを入力します。

- ・[+]キー：設定値を増加させます。
- ・[-]キー：設定値を減少させます。
- ・[<]キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ・[>]キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、[Enter] キーを押します。



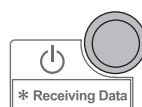
Note

アクティベーションコードは販売店からEメールなどで入手してください。

[3]

Reboot a printer

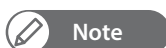
- ・電源をオフにしてください。
- ・しばらく待ってから電源をオンにして、再起動してください。



### インターネットから設定する場合

Activation required

「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。



Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、下記のURLからMUTOH Clubへアクセスし、「新規登録」からユーザー登録を行うと入手できます。

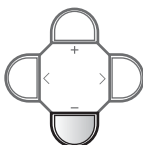
<https://mutoh-club.com/mutoh/guser/>

## 初期設定を行う

表示にしたがって初期設定を行ってください。

### 1. 表示言語と単位の設定

- [1] Language : English [-] キーを押して、「Japanese」を選択します。



Language : Japanese

[Enter] キーを押します。



- [2] Length : mm [Enter] キーを押します。



- [3] イニシャルチュウ 本製品が初期動作を開始します。

## インクの初期充てん

### 必要なもの：

- ・ クリーニングワイパー：1 個
  - ・ 洗浄液カートリッジ（または洗浄液パック）：8 本
  - ・ インクカートリッジ（またはインクパック）：8 本
- 4 色設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y） 各 2 本
- 5 色設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y） 各 1 本  
ホワイト（Wh）、洗浄液（Cl） 各 2 本
- 7 色（ライト色）設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、ライトシアン（LC）、  
ライトマゼンタ（LM）、ライトブラック（LK）、洗浄液（Cl） 各 1 本
- 7 色（特色）設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、オレンジ（OR）、  
ブルー（BL）、グリーン（GR）、洗浄液（Cl） 各 1 本
- 8 色（ライト色）設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、ライトシアン（LC）、  
ライトマゼンタ（LM）、ライトブラック（LK）、ホワイト（Wh） 各 1 本
- 8 色（特色）設定：
- ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、オレンジ（OR）、  
ブルー（BL）、グリーン（GR）、ホワイト（Wh） 各 1 本

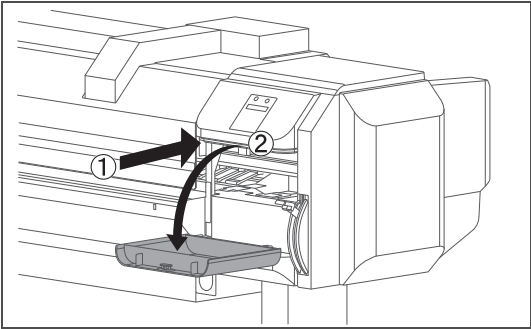
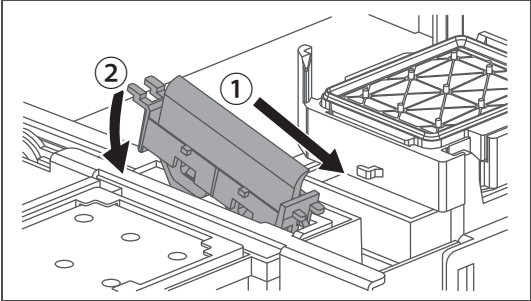
### Important!

初期洗浄で使用した洗浄液カートリッジ（または洗浄液パック）は、残量が少ないため、初期充てんには使用しないでください。

### Note

- ・ インクパックを使う場合は、大容量パックアダプターが必要です。
- ・ 大容量パックアダプターの取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

## 1. クリーニングワイパーを取り付ける

- [1] **ワイパーヲ トリツケマシタカ? → No**
- 操作パネルに左のメッセージが表示されます。
- [Enter] キーを押します。
- [2] 
- 製品右側のメンテナンスカバーを開けます。
- [3] 
- 以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。
- クリーニングワイパーの手前側を挿入します。
  - クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。
- Important!**
- クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。油脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- [4] メンテナンスカバーを閉じます。
- [5] **ワイパーヲ トリツケマシタカ? → イイエ**
- ワイパーヲ トリツケマシタカ? → ハイ**
- [+] キーまたは [-] キーを押して、「ワイパーヲ トリツケマシタカ? → ハイ」を選択します。
  - [Enter] キーを押します。

## 2. 初期洗浄を行う

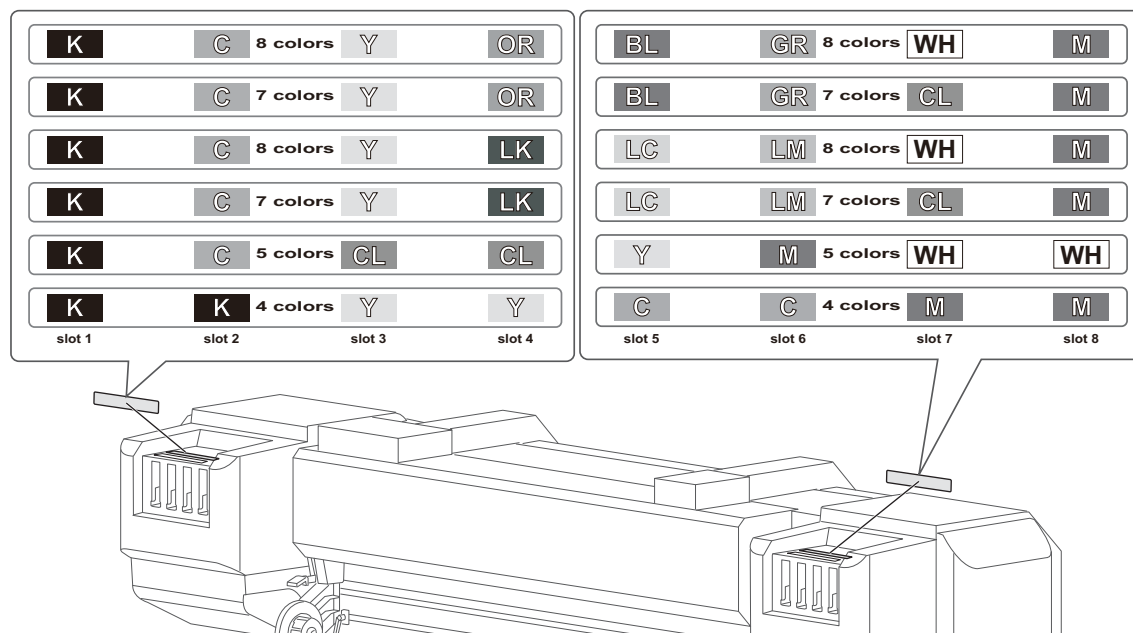
- [1] [Enter] キーを押します。

インクジュウテンカイシ -> Enter

- [2] • [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するインク色の組み合わせを選択します。  
• [Enter] キーを押します。

クミアワセ: \*[\*[\*[\*[\*[\*[\*[\*[\*[\*[\*]]]]]]]]]

- [3] 使用するインク色設定に合わせて、インクを挿入するスロットの上面にインクラベルを貼ります。  
ラベルはスロット位置ラベルに合わせて貼ります。



### Important!

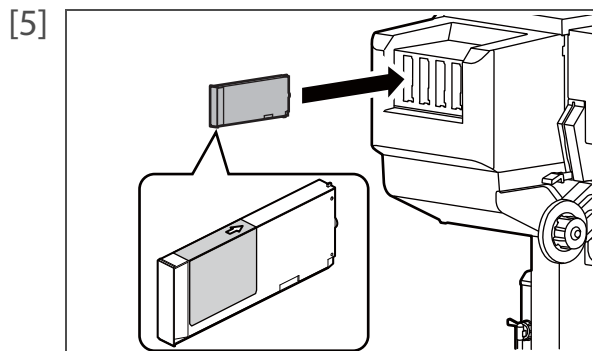
- ・インクラベルは本書と一緒に梱包されています。
- ・色の順番を間違えないようご注意ください。

- [4] 廃液タンクが空になっていることを確認し、[Enter] キーを押します。

ハイエキヲ カラニシテクダサイ ->E

操作パネルに左のメッセージが表示されます。

センジョウカートリッジ ヲ セット



すべてのインクカートリッジスロットに洗浄液カートリッジを取り付けます。

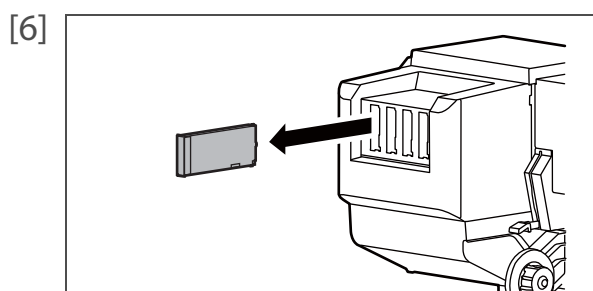
- ・ 矢印マークを上にしてください。
- ・ 奥までしっかり差し込んでください。

ヘッドセンジョウチュウ

洗浄液の充てんを開始します。

カートリッジ ヲ ヌイテクダサイ

洗浄液の充てんが終わると、左のメッセージが表示されます。



すべての洗浄液カートリッジを取り外します。

ヘッドセンジョウチュウ

洗浄液の排出を開始します。



操作パネルに左のメッセージが表示されます。

- ・ 廃液タンクを空にして、[Enter] キーを押します。

### 3. 廃液タンクを空にする

#### 警 告



プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

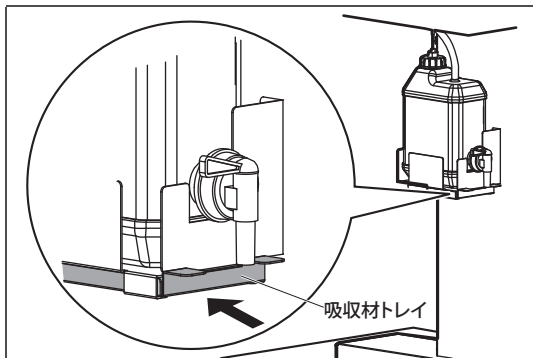
#### 注 意



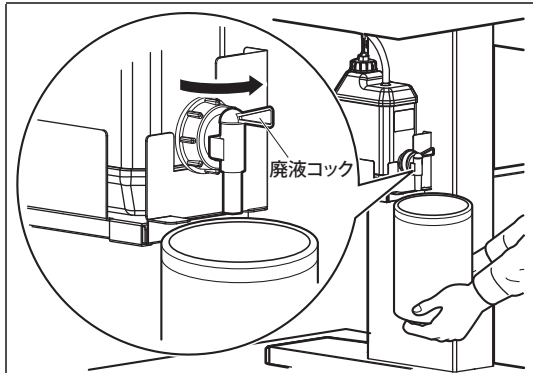
インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

- [1] 廃液を受ける空容器を用意します。
- [2] いらないメディアなどを廃液タンクの下の床に敷きます。

- [3]  廃液タンク受けの吸収材トレイを押して収納します。

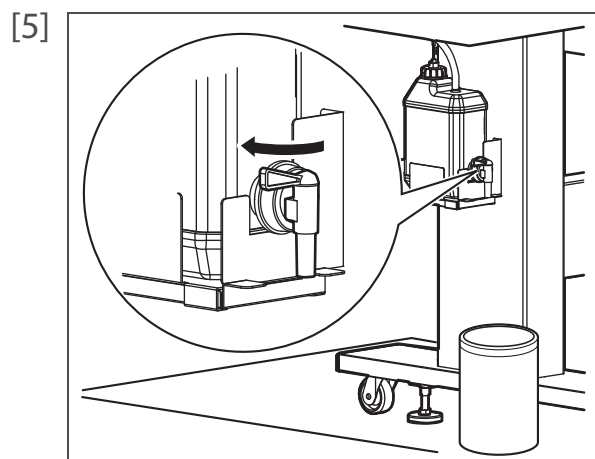


- [4]  廃液コックを開き、空容器に廃液を移します。



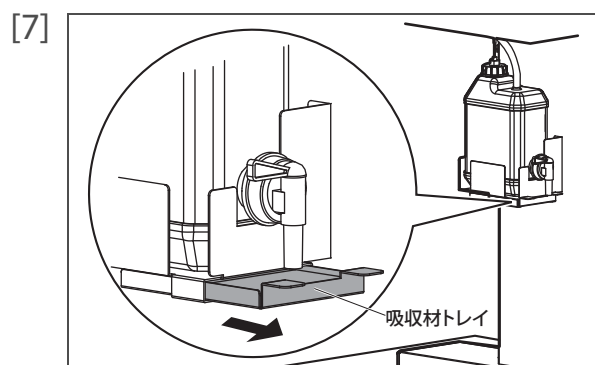
#### Important!

廃液コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛び散ることがあります。空容器を廃液コックに近付けて処理を行ってください。



廃液を空容器に移し終わったら、廃液コックを確実に閉めます。

[6] 廃液コックの口を布等で拭き取ります。



吸収材トレイを引き出します。

[8] 廃液は産業廃棄物として処理します。

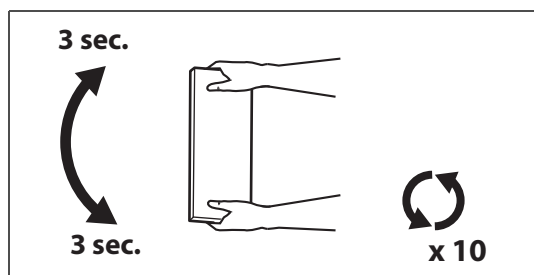
## 4. 初期充てんを行う

[1]

インクカートリッジ ヲ セット

操作パネルに左のメッセージが表示されます。

[2]



新しいインクカートリッジを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- ・差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- ・次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- ・10 回繰り返します。

以下のインクカートリッジが必要です。

### 4 色使用時

- ・ブラック (K) : 2 本
- ・イエロー (Y) : 2 本
- ・シアン (C) : 2 本
- ・マゼンタ (M) : 2 本

### 5 色使用時

- ・ブラック (K) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・洗浄液 (CI) : 2 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・マゼンタ (M) : 1 本
- ・ホワイト (Wh) : 2 本

### 7 色 (ライト色) 使用時

- ・ブラック (K) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・ライトブラック (LK) : 1 本
- ・ライトシアン (LC) : 1 本
- ・ライトマゼンタ (LM) : 1 本
- ・洗浄液 (CI) : 1 本
- ・マゼンタ (M) : 1 本

### 8 色 (ライト色) 使用時

- ・ブラック (K) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・ライトブラック (LK) : 1 本
- ・ライトシアン (LC) : 1 本
- ・ライトマゼンタ (LM) : 1 本
- ・ホワイト (Wh) : 1 本
- ・マゼンタ (M) : 1 本

### 7 色 (特色) 使用時

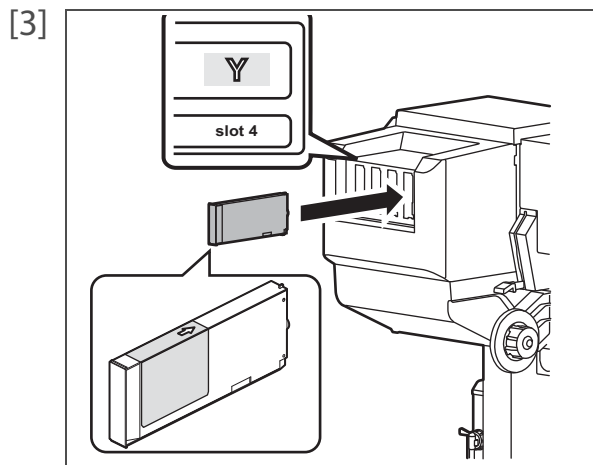
- ・ブラック (K) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・オレンジ (OR) : 1 本
- ・ブルー (BL) : 1 本
- ・グリーン (GR) : 1 本
- ・洗浄液 (CI) : 1 本
- ・マゼンタ (M) : 1 本

### 8 色 (特色) 使用時

- ・ブラック (K) : 1 本
- ・シアン (C) : 1 本
- ・イエロー (Y) : 1 本
- ・オレンジ (OR) : 1 本
- ・ブルー (BL) : 1 本
- ・グリーン (GR) : 1 本
- ・ホワイト (Wh) : 1 本
- ・マゼンタ (M) : 1 本

### Important!

初期洗浄で使用した洗浄液カートリッジ (または洗浄液パック) は、残量が少ないため、初期充てんには使用しないでください。



インクカートリッジをプリンターに取り付けます。

- 本製品に貼付されたインクラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

インクジュウテンチュウ

\*\* %

左のメッセージが表示されます。

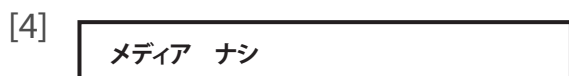
- インク充てんを開始します。

## ⚠ 注 意



インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- メディアセットレバーを上げる



インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

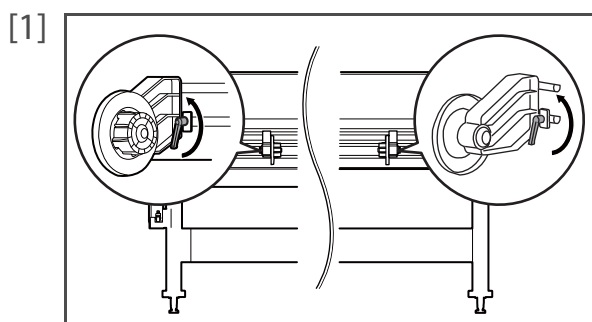
- インク充てんが完了しました。

## プリンターにメディアをセットする（ロール紙の場合）

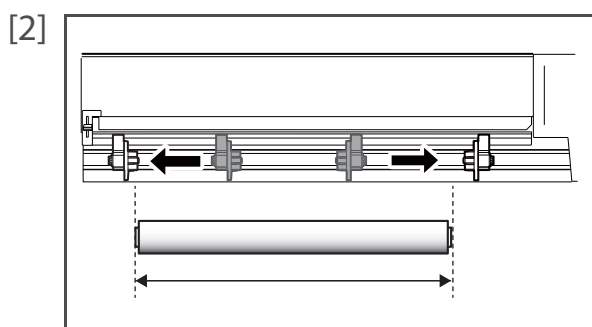
### Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

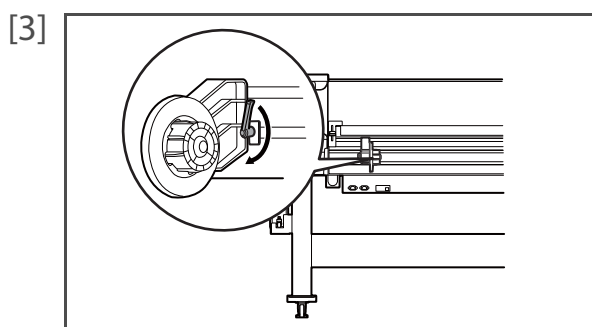
### 1. ロール紙受けにメディアを取り付ける



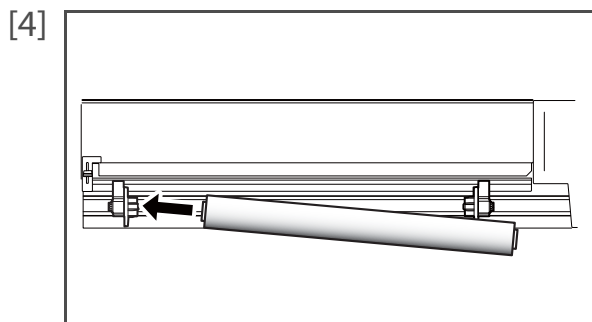
プリンター背面の左右のロール紙受けの固定レバーを緩めます。



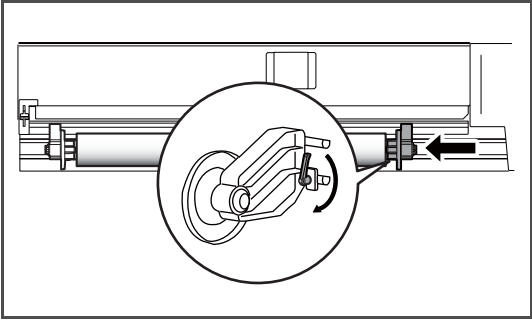
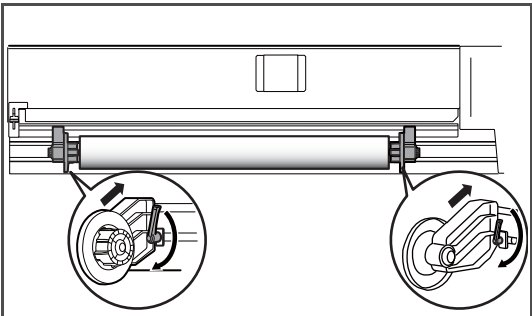

左右のロール紙受けの間隔を、セットするロール紙幅より大きく広げます。



ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。

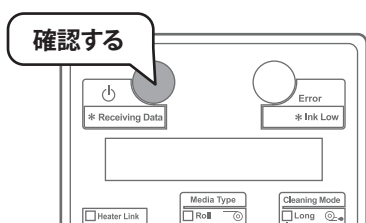


ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。

- [5] 
- ロール紙受け（右）をロール紙に取り付け、固定レバーを締め付けます。
- [6] 
- ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を製品中央に移動させます。
- [7] 
- ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、固定レバーを締め付けます。
-  **Note**
- 固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。  
押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。

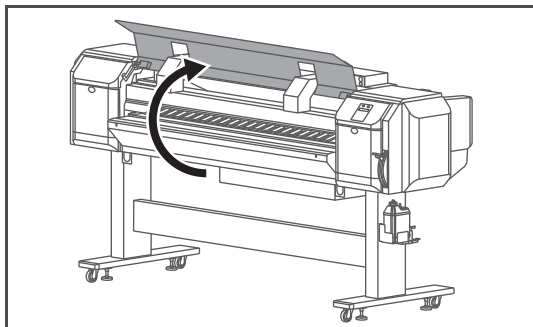
## 2. プリンターにメディアをセットする

[1]



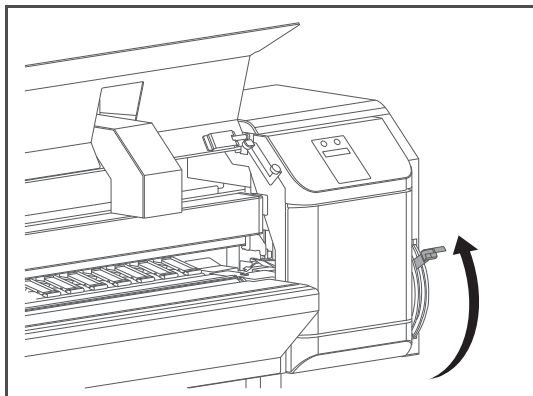
プリンターの電源をオンになっていることを確認します。

[2]



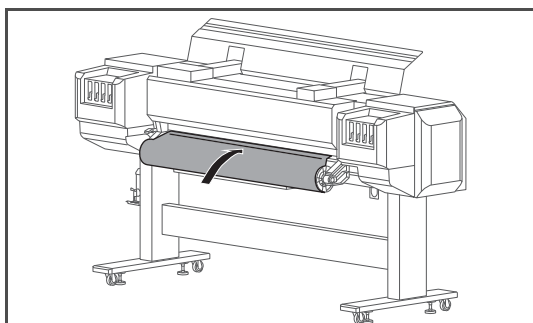
フロントカバーを開きます。

[3]



メディアセットレバーを上げます。

[4]



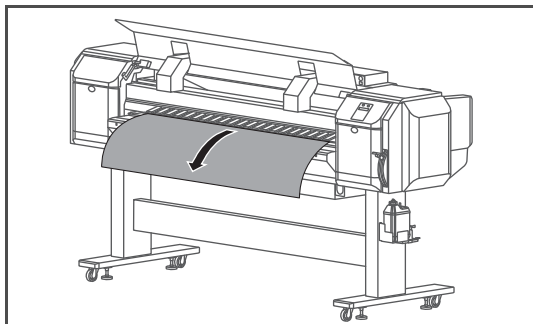
メディアを給紙スロットに差し込みます。



### Note

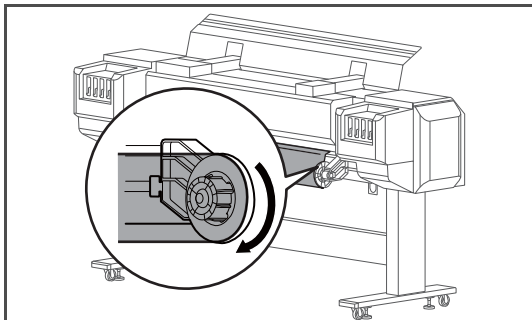
ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

[5]



正面側の給紙スロットから、メディアを約1m引き出します。

[6]

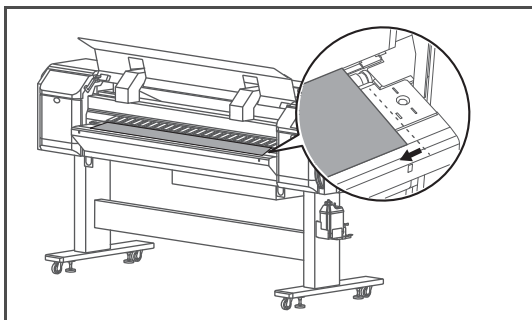


メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。



**Note**

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。



メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入らないようにしてください。印刷品質に影響する場合があります。

[7]

必要に応じて、加圧ローラーを個別に解除します。



取扱説明書「加圧ローラーを個別に解除する」



**Note**

通常は加圧ローラーを解除せずに使用します。

薄いメディアやコシのないメディアを印刷する場合や、治具を使って印刷する場合は、加圧ローラーを個別に解除してください。

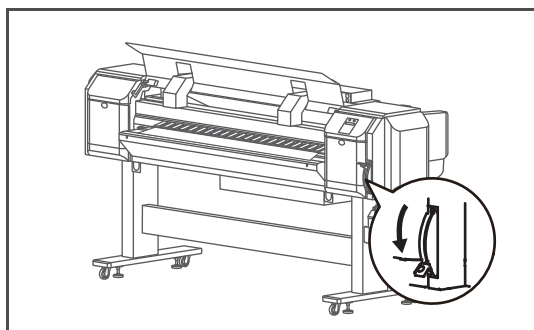
### 3. メディアをセットしたら・・・

[1]

メディアヲセットシテクダサイ

操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

[2]

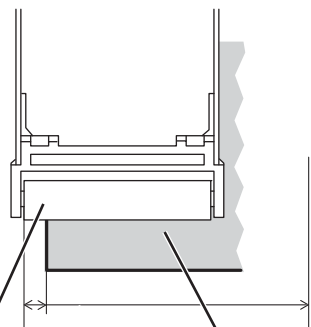


メディアセットレバーを下げます。

[3]

メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。

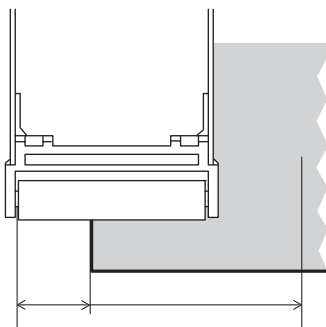
**Good**



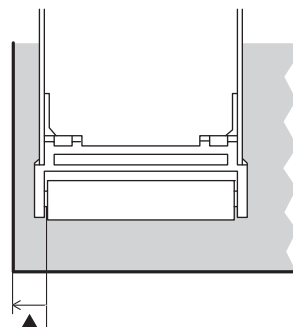
加圧ローラー

ロール紙

**Good**



**Not Good**

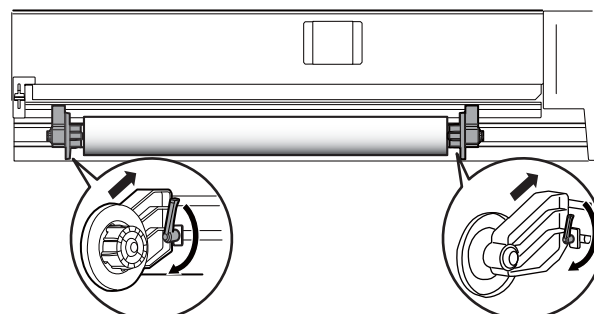
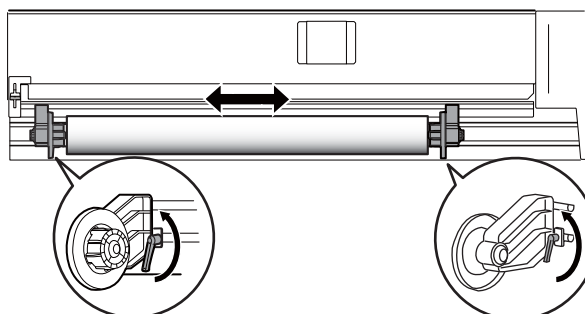


ロール紙の端が加圧ローラーからはみ出している

[4]

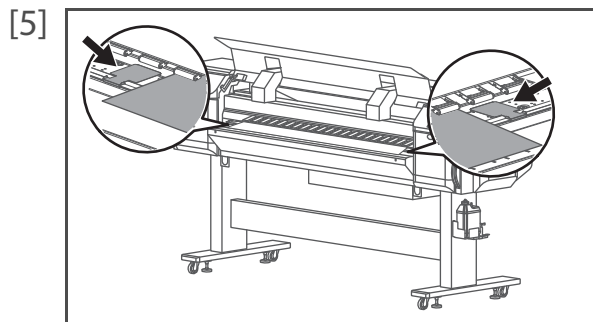
メディアが適切に押さえられていない場合は、以下の手順に従って、メディアの位置を調整してください。

- ・メディアセットレバーを上げます。
- ・ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
- ・ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます。



Note

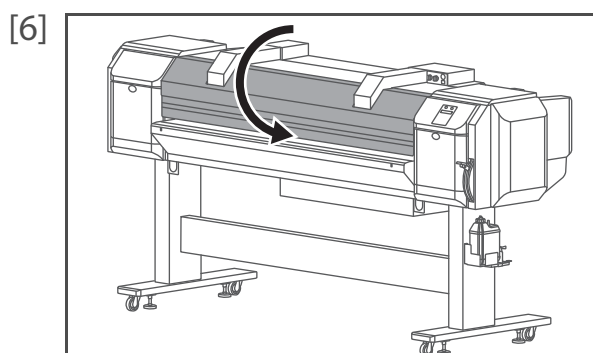
- ・メディアが適切に押さえられていない場合、印刷時にメディアのズレ、シワ等が発生する恐れがあります。
- ・固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。  
押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。



メディアの両端にメディア押さえをセットします。

**Important!**

初期設定では、メディアの端から 5 mm の部分から印刷を行います。メディア押さえは、メディアと重なる部分が 5 mm 未満になるようにセットしてください。

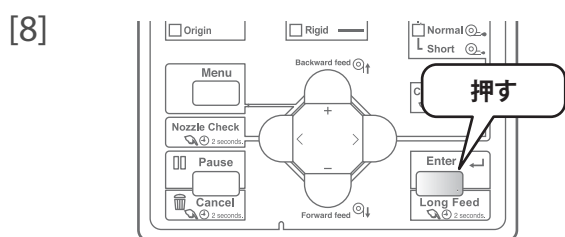
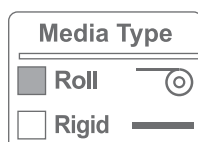


フロントカバーを閉じます。



操作パネルに「シュルイ: Type \*\* OK?」と表示されます。

- 使用するユーザ定義を [+ ] キー / [- ] キーで選択します。
- ユーザ定義のメディア種類が「ロール紙」に設定されていることを確認してください。



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。

- メディアセットを終了します。

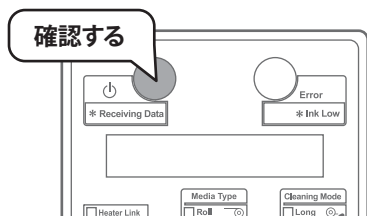
## プリンターにメディアをセットする（リジッドメディアの場合）

### Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2人以上で作業することをおすすめします。

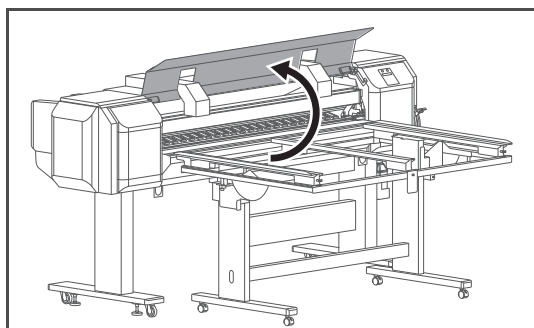
### 1. リジッドメディアをセットする

[1]



プリンターの電源をオンになっていることを確認します。

[2]

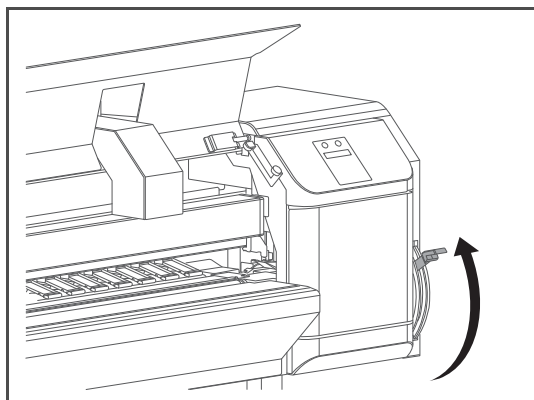


フロントカバーを開きます。

#### Note

かならずフロントカバーが開いている状態で、リジッドメディアをセットしてください。  
閉じている状態でリジッドメディアをセットすると、正常に動作しなくなる恐れがあります。

[3]



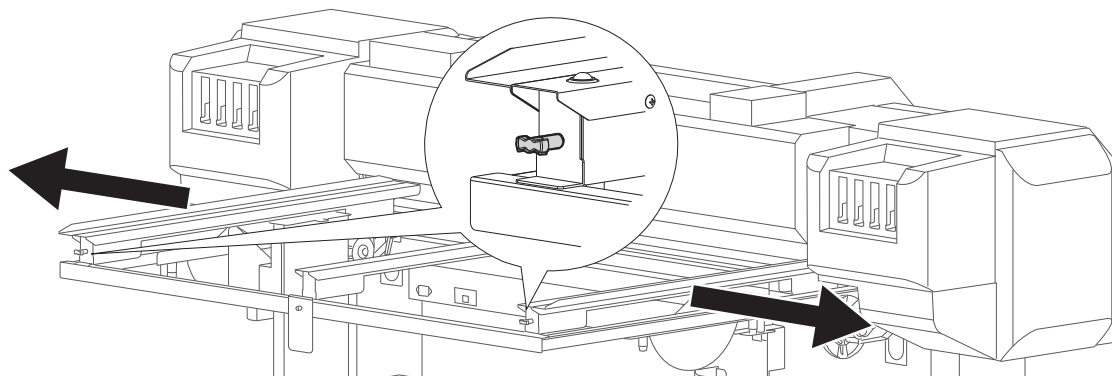
メディアセットレバーを上げます。

#### Note

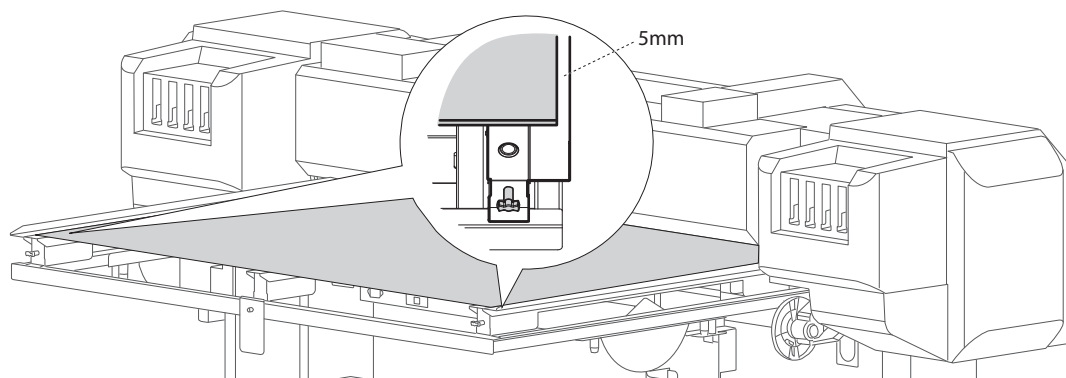
簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

[4]

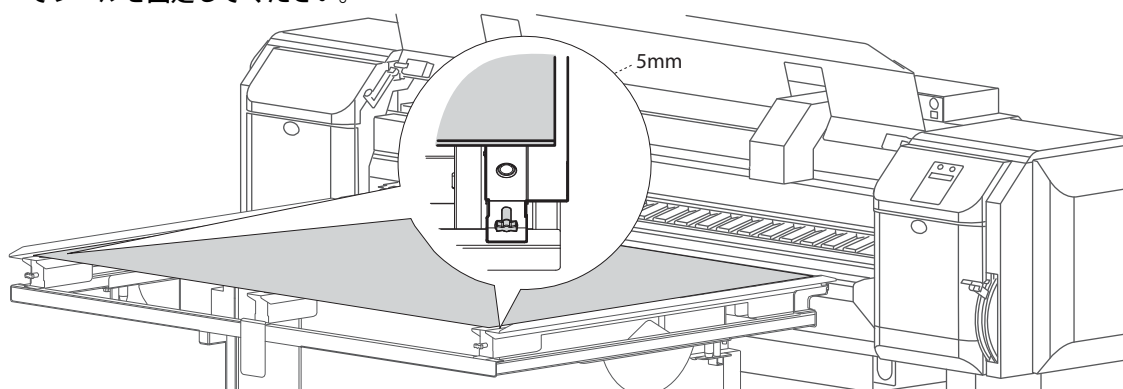
搬送台（背面側）のレール固定ネジをゆるめ、リジッドメディアが置けるようにレールを左右に広げます。  
リジッドメディアはプリンター中央にセットされるようにします。



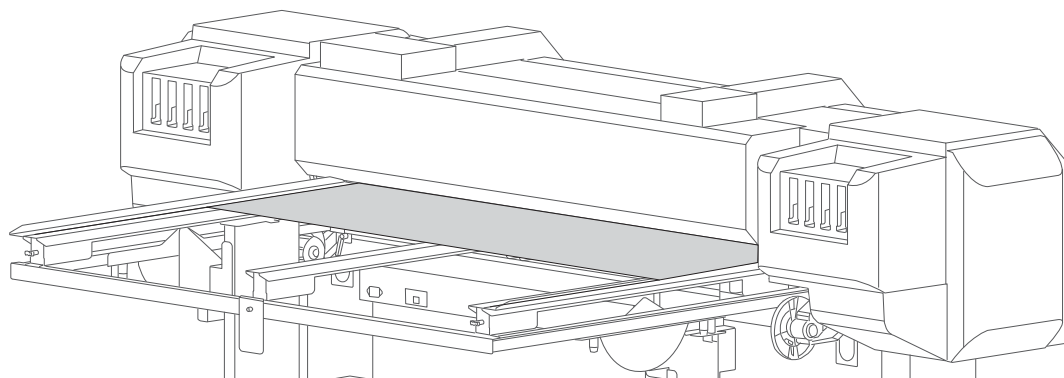
- [5] レール上にリジッドメディアを載せ、左右のストッパーとリジッドメディアの隙間が 5mm 以上ある位置で、レール固定ネジを締め付けます。



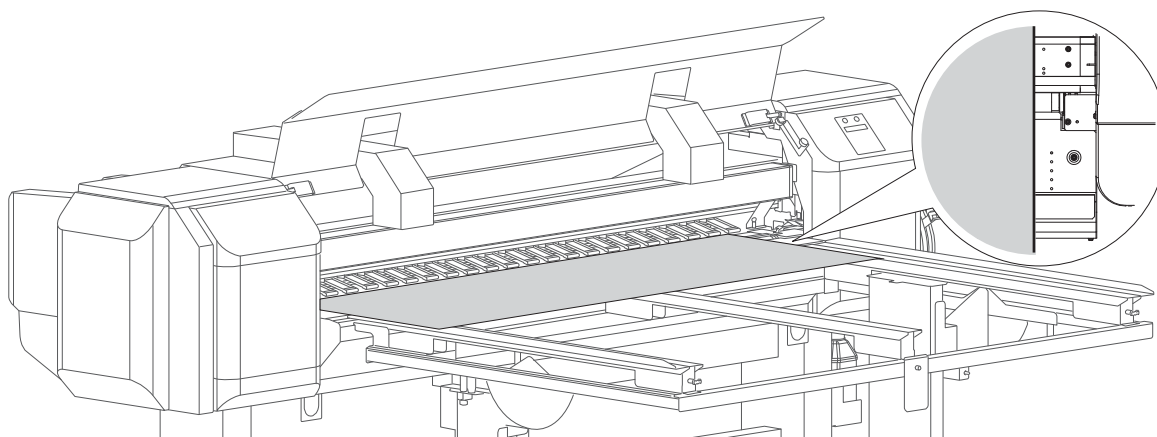
- [6] 搬送台（前側）も同様に、リジッドメディアを載せてみて、左右のストッパーとメディアとの隙間が 5mm 以上ある位置でレールを固定してください。



- [7] プリンター背面側から、リジッドメディアを給紙スロットに差し込みます。



- [8] 正面から見て、メディアの右端が用紙セット目安より右側に入ってしまう場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。



- [9] 必要に応じて、加圧ローラーを個別に解除します。  
☞ 取扱説明書「加圧ローラーを個別に解除する」



#### Note

通常は加圧ローラーを解除せずに使用します。

薄いメディアやコシのないメディアを印刷する場合や、治具を使って印刷する場合は、加圧ローラーを個別に解除してください。

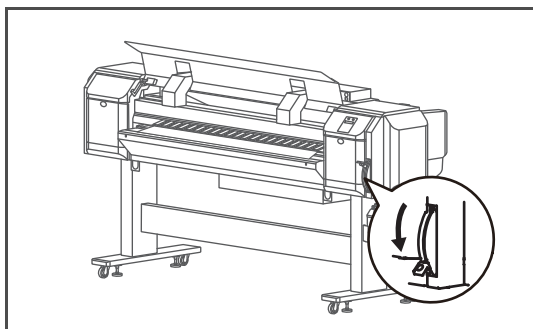
## 2. メディアをセットしたら・・・

[1]

メディアヲセットシテクダサイ

操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

[2]



メディアセットレバーを下げます。

- ・メディアセットレバーは、下方に押しつけるようにしてしっかり下げてください。



#### Note

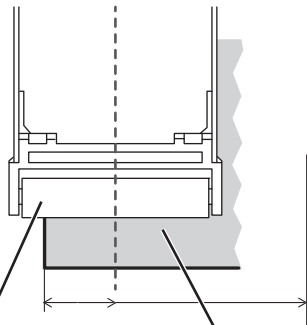
簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

[3]

メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。

メディアの両端が加圧ローラに半分以上かかっていない場合は、搬送台のレールの位置を調節してください。

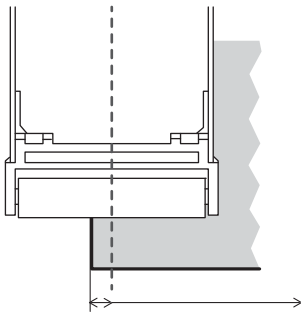
**Good**



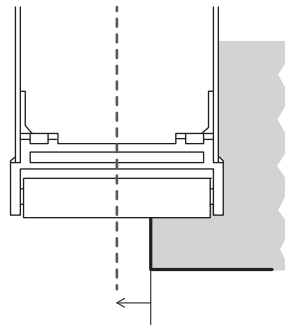
加圧ローラー

リジッドメディア

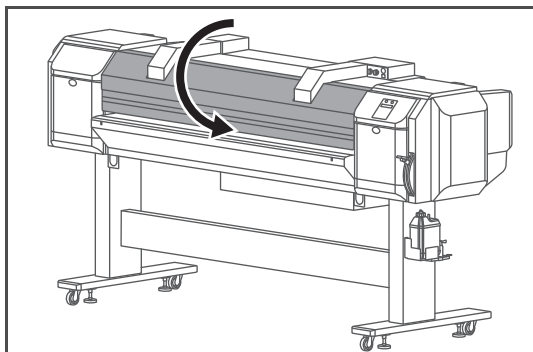
**Good**



**Not Good**



[4]



フロントカバーを閉じます。



#### Note

簡略化のため、イラストでは搬送台を省略しています。

[5]

シユルイ:	Type ** OK?
-------	-------------

操作パネルに「シユルイ: Type \*\* OK?」と表示されます。

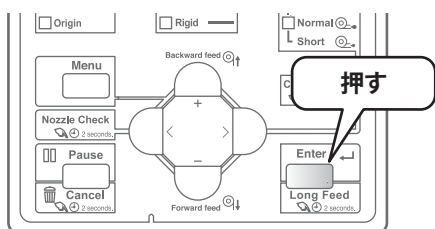
- 使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。
- ユーザ定義のメディア種類が「リジッド」に設定されていることを確認してください。

Media Type	
<input type="checkbox"/> Roll	<input checked="" type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Rigid	<input type="radio"/>

 Note

メディア種類が「リジッド」に設定されていない場合は、「メニュー 2: ユーザティギ>」 - 「ユーザ: Type\*」 - 「\*\* > 10: メディアシユルイ」から「メディアシユルイ: リジッド」を選択してください。

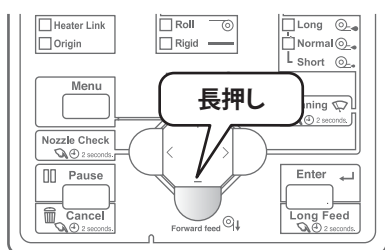
[6]



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。

- メディアセットを終了します。

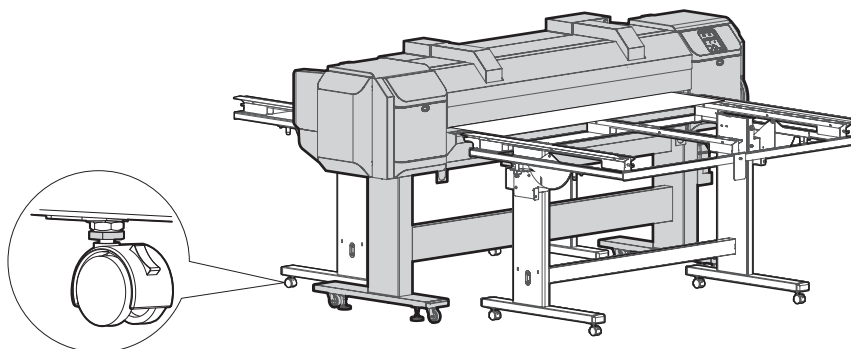
[7]



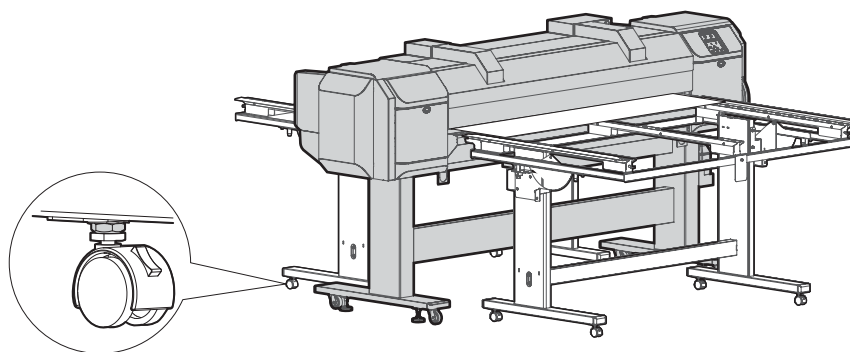
[-] キーを長押しして、リジッドメディアが問題なく搬送できることを確認します。

[8]

搬送不良がある場合は、前後の搬送台のキャスター（各 4 箇所）のネジをスパナで回して、高さを少しずつ上げ、搬送ができる位置に調節してください。



- [9] 調整後、搬送台のキャスター（4箇所）の六角ナットを、搬送台のテーブルに向かってスパナで締めます。
- キャスターの高さが固定されます。



## ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ・ノズルチェック：ノズルチェックを印刷します。
- ・ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。



### Note

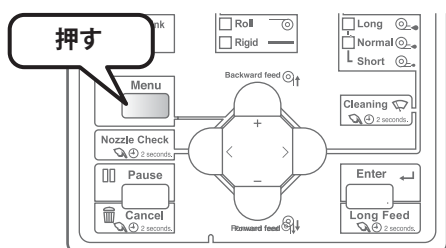
- ・5色設定時、または8色設定時の場合、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ・ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

## 1. ノズルチェックの手順

- [1] ノズルチェックで使用するメディアをセットします。

「テスト印刷」P.34

- [2]



[Menu] キーを押します。

- [3]

メニュー4：                      テストサクガ>

- ・[-] キーを何回か押して、左の表示にします。
- ・[>] キーを押します。

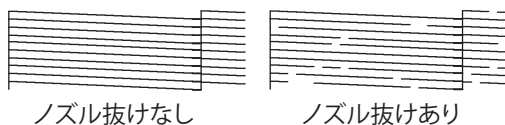
- [4]

テスト1：                      ノズルチェック

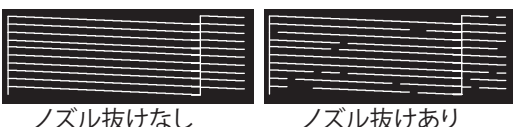
テスト2：                      ノズルチェックB

- ・[Enter] キーを押します。
- ・ノズルチェック B を選択する場合は、[-] キーを押してノズルチェック B を表示してから [Enter] キーを押してください。
- ・ノズルチェックを印刷します。

- [5]



- パターンを確認します。
- ・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.47 に進みます。
  - ・ノズル抜けがない場合は、「スリープモード」P.48 に進みます。



- ・ノズルチェック B の場合、ノズルチェックパターンの背景の一部が黒くなります（ホワイトのパターンの一部）。



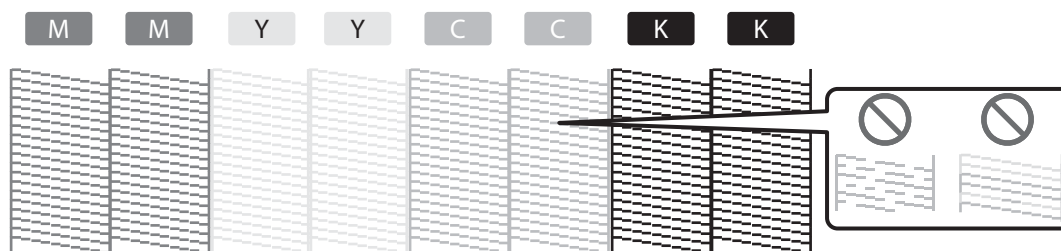
### Note

- ・カラーのノズルは背景を白インクで印刷します。
- ・ホワイトの一部のノズルは背景なしになります。

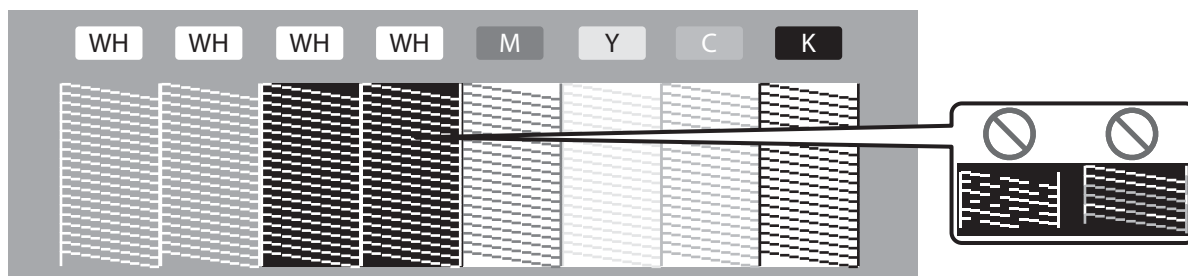


#### Note

下図は 4 色設定時のノズルチェックの印刷例です。



下図は 5 色設定時のノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。



#### Note

パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。



#### Important!

初期充電終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- ・印刷した線がかすれる
- ・部分的に印刷されない

このような場合には、取扱説明書「メニュー 5：クリーニング」に従って、微量充電を行ってから、印刷結果を確認してください。

微量充電を行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充電を行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P. 57 までご連絡ください。



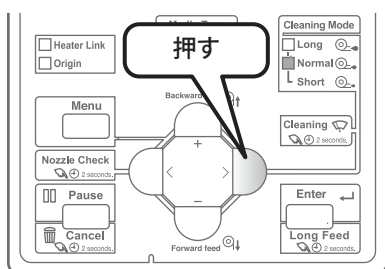
#### Note

コンピューターと接続して印刷を行う前に、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイの設定を行ってください。

☞ 取扱説明書「初期設定 3：IP アドレス」、「初期設定 4：サブネットマスク」、「初期設定 5：ゲートウェイ」

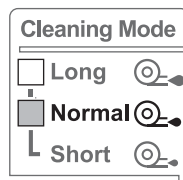
## 2. クリーニングの手順

[1]



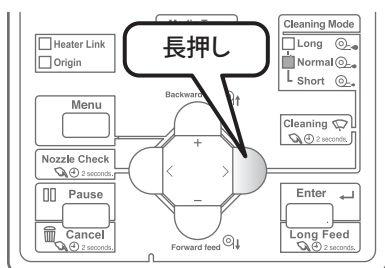
[Cleaning] キーを押して、[Cleaning Mode] ランプが [Normal] で点灯しているようにします。

- ・クリーニングモードが「通常」に設定されます。



通常クリーニング

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

- ・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

 [「ノズルチェックの手順」P.45](#)

- ・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。  
「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、取扱説明書「ヘッドクリーニング」を参照してください。

# スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

## Important!

スリープモードを1週間以上継続する場合は、週1回、以下を行ってください。

- ・インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
- ・インクをかくはんしてください。

1週間に1度のお手入れが出来ない場合は「長期保存」を行ってください。

「長期保存」はヘッド洗浄から1ヶ月間（30日）まで放置することが出来ます。

## 手順

[1] 製品の動作状態について以下を確認します。

- ・フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。
- ・メディアが取り外されていること。
- ・インクの残量が十分にあること。
- ・インクのかくはん要求がないこと。
- ・その他のエラーが発生しないこと。
- ・廃液タンクの空き容量が十分にあること。

## Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃液を排出してください。

[2] デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

VJ-1628MH デイリーメンテナンスシート

[3]  [Menu] キーを押します。

[4]  [>] キーを押します。

[5]  [Enter] キーを押します。

[6]  [Enter] キーを押します。

[7]  [Enter] キーを押します。

- [8] 

クリーニングチュウ	** %
-----------	------
- 自動でクリーニングを行います。
- |             |
|-------------|
| シバラクオマチクダサイ |
|-------------|
- ・ キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
- [9] 

デイリーメンテナンス:	End
-------------	-----
- 左のメッセージが表示されます。
- ・ デイリーメンテナンスを行います。  
VJ-1628MH デイリーメンテナンスシート
  - ・ メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。
- |                 |
|-----------------|
| Enter デ サイカイシマス |
|-----------------|
- スリープモードを開始します。
- ・ スリープモードから復帰する場合は、[Enter] キーを押します。

 Note

- ・ スリープモード中は電源ボタンが青色に点滅します。
- ・ ブロアヒーターは、冷却のため停止するまでに時間がかかる場合があります。
- ・ ブロアヒーターは、Manual モード時は手動で停止してください。
- ・ 本製品は、スリープモード、または電源オフからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充電を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。


 Important!

スリープモードに設定してから 1 週間が経過すると、以下のメッセージが表示されます。

- ・ 「ノズルチェックヲ シテクダサイ → E」

以下の手順に従って、ノズルチェックを行い、ノズル抜けがないことを確認してください。

- ・ [Enter] キーを押して、スリープモードを解除します。
- ・ 操作パネルのメッセージに従って、インクをかくはんします。
- ・ ノズルチェック用のメディアをセットし、ノズルチェックを行います。

 「ノズルチェックの手順」P.45

- ・ ノズル抜けがある場合は、ヘッドクリーニングを行います。

 「クリーニングの手順」P.47

再び、スリープモードに設定します。

# 安全にお使いいただくために

## 大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### 受信障害について



本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。

もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。



- ・ 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- ・ 本製品の使用方向を変えてみる
- ・ 受信機と本製品の距離を変えてみる
- ・ 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

## 安全表示について

### 警告と注意の意味

 <b>警 告</b>	回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。
 <b>注 意</b>	回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。

### 図記号の意味

警告記号	意味
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。




















Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「はじめに」をご覧ください。

## 感電・ショート・火災について

### 警 告

-  湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。  
感電・火災の恐れがあります。
-  破損した電源ケーブルを使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。
-  以下の場所には、アース線を接続しないでください。
  - ・ガス管  
引火や爆発する恐れがあります。
  - ・電話線用アース線および避雷針  
落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
  - ・水道管および蛇口  
配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。
-  通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。
-  異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。  
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。
-  毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。
-  電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
  - ・電源ケーブルを加工しないこと。
  - ・電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。
  - ・電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。
  - ・電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。
-  電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。  
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
  - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
-  かならず指定の電源を使用してください。  
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。
-  電源コンセントから直接電源を取ってください。  
タコ足配線はしないでください。  
発熱し、火災の原因となります。
-  電源はかならずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。  
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
-  アース線は、かならず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
  - ・電源コンセントのアース端子
  - ・銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線
  - ・D 種接地工事を行っている接地端子
-  かならず指定の電源ケーブルを使用してください。
  - ・指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。  
指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。
  - ・電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
  - ・電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
-  各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。  
配線を誤ると、火災の恐れがあります。
-  ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。  
感電または故障する恐れがあります。
-  本製品内部に水気が入らないように注意してください。  
電気回路がショートする恐れがあります。

## 設置について

### 警 告



本製品を以下の場所には設置しないでください。  
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。

- ・ぐらついた台の上
- ・傾いている場所
- ・他の機械等の振動が伝わる場所

### 注 意



本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。  
内部のインクが漏れる恐れがあります。  
また移動後の正常動作が保証できません。



本製品を開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。



この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。



本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外し、搬送用ステーを取り付け、そのステーを持ってください。

ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。

## 取り扱いについて

### 警 告



本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。  
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

### 注 意



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。



クリーニングワイパーおよびプリントヘッド外周の清掃時は、以下の点に注意してください。

- ・クリーンスティックの使用目安は 1 週間です。  
1 週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。



クリーニングワイパー清掃時は、以下の点に注意してください。

- ・クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。  
油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- ・必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭き取ってください。  
専用の洗浄液以外で拭き取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。



プリントヘッド外周を清掃するときは、以下の点に注意してください。

- ・プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。  
プリントヘッドが破損する恐れがあります。
- ・クリーンスティックの先端には手を触れないでください。  
油脂が付着してプリントヘッドが破損する恐れがあります。
- ・必ずクリーンスティックを使用して、専用の洗浄液に浸してから拭き取ってください。  
専用の洗浄液以外で拭き取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。

## 取り扱いについて（続き）



インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- ・本製品の電源をオフにする
- ・本製品の電源ケーブルを抜く
- ・フロントカバーを開ける
- ・メンテナンスカバーを開ける
- ・メディアセットレバーを上げる



本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。

移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。



メディアをカットする場合は、以下の事項に注意してください。取り扱いを誤ると、カッターで指や手を切る可能性があります。

- ・メディアを押える場合は、メディアカット溝の上に指を乗せない
- ・カッターはメディアカット溝に沿ってゆっくり動かす



作業場所は換気をしてください。  
臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。



シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。  
塗装を傷める原因となります。



ヒーターの動作中はブローヒーターに触れないでください。

ブローヒーターは高温になっており、やけどする恐れがあります。



インクを取り扱う時は保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護マスク、保護衣）を着用してください。

## 消耗品について



### 警 告



本製品から出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。



### 注 意



インクカートリッジ（インクパック）を分解しないでください。

分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。



インクカートリッジ（インクパック）をはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。



インクカートリッジ（インクパック）は必ず下記を行ってください。

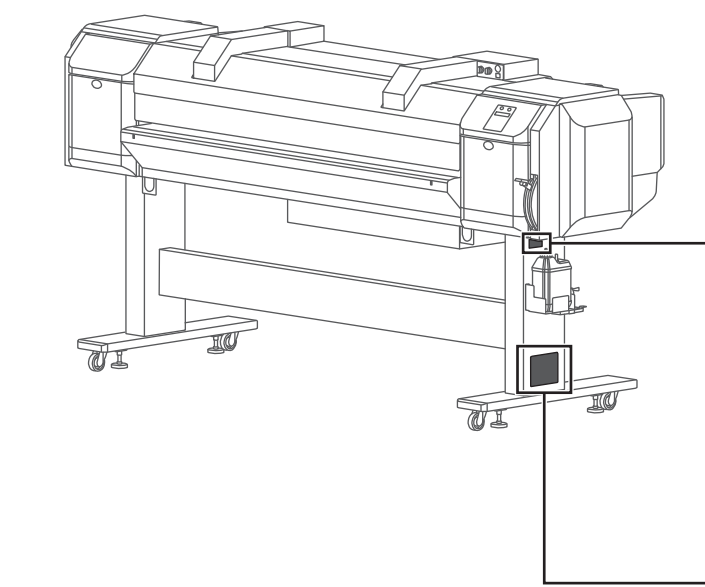
- ・初めて使用する前にかくはんしてください。
- ・パネルメッセージに従ってかくはんしてください。



インクカートリッジ（インクパック）を落としたり、強く叩いたりしないでください。  
インクが漏れる場合があります。

## 警告ラベルについて

この場合、両者が同時に交換した場合は、交換した2枚の札は、2枚とも有効となる。



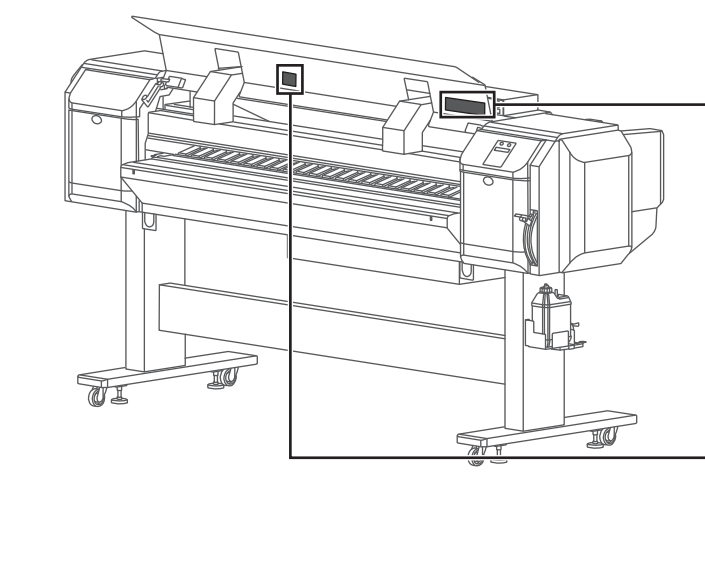
**⚠ CAUTION / ATTENTION / 注意**

- ◆ Do not bend or pull the waste ink drain tube.  
The ink may be leaked and damages the printer.
- ◆ Ne pas tirer ou plier le drain d'encre usagé;  
cela pourrait provoquer une fuite d'encre,  
et endommager l'imprimante.
- ◆ 廃液チューブを折り曲げたり、引っ張ったり  
しないで下さい。インクが漏れて製品が故障  
する恐れがあります。

廃液チューブ取扱ラベル



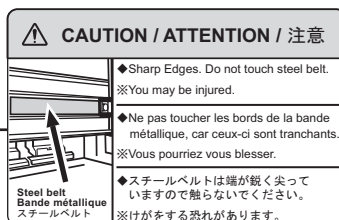
廃液注意ラベル



 CAUTION / ATTENTION / 注意

- [illegible]

## プリンター取扱注意ラベル

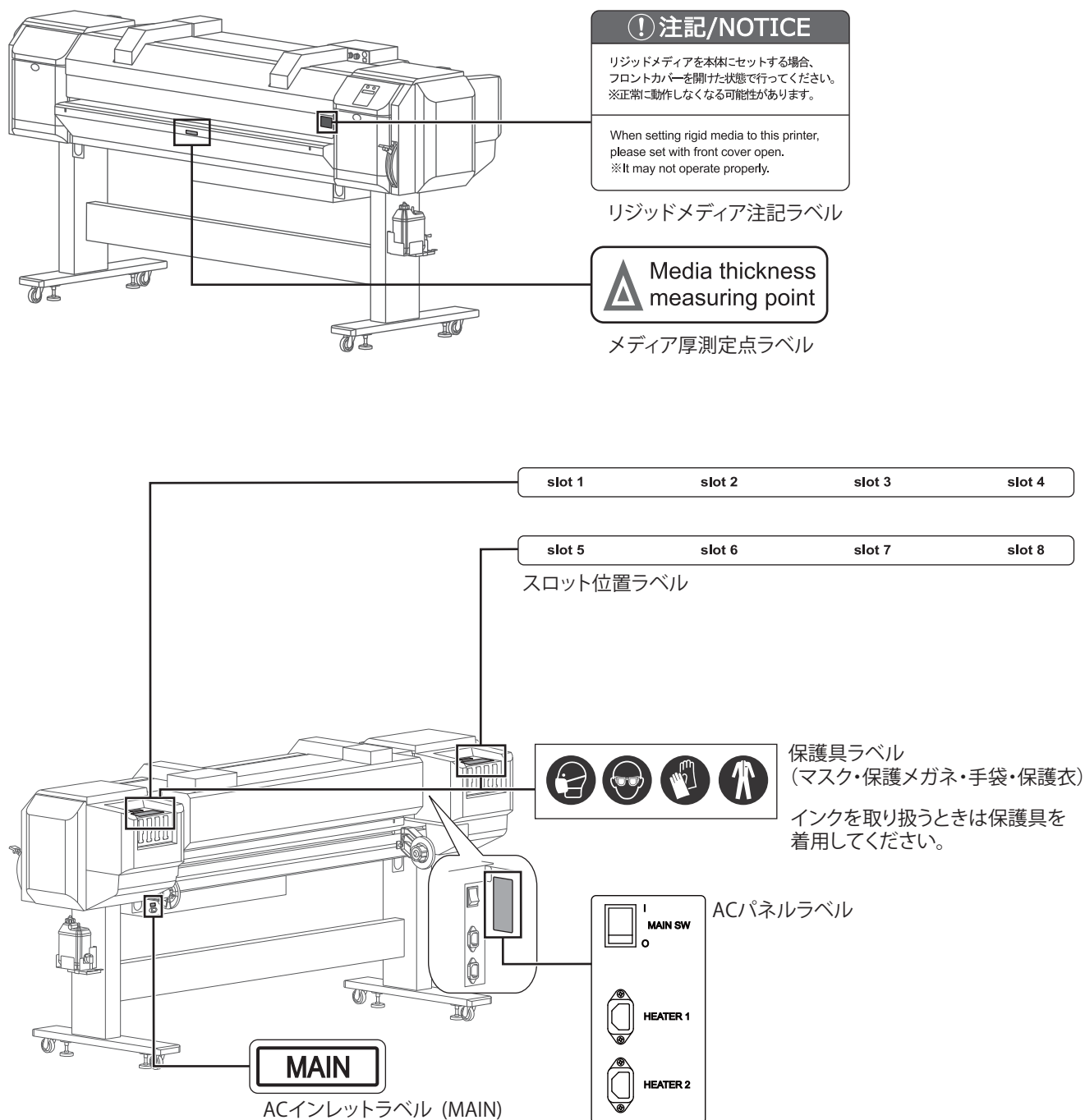


## スチールベルト接触禁止ラベル



## 操作説明ラベルについて

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



## お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

### MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

E-mail : [gsup@mutoh.co.jp](mailto:gsup@mutoh.co.jp)

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00





**MUTOH**